

1. 件名：中部電力株式会社浜岡原子力発電所1、2号炉の廃止措置計画に関する面談
2. 日時：令和5年6月14日 9時35分～11時35分
3. 場所：原子力規制庁 9階A会議室
4. 出席者：（※・・・一部TV会議システムによる出席）
原子力規制庁：
原子力規制部審査グループ 実用炉審査部門
戸ヶ崎安全規制調整官、寺野管理官補佐、福原管理官補佐※、宮嶋安全審査官
※、黒住審査チーム員

中部電力株式会社：
浜岡原子力発電所 廃止措置部 廃止措置計画課 課長 他6名
5. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
6. その他
提出資料：
資料1-1：浜岡原子力発電所1、2号原始炉廃止措置計画変更認可申請書について
（審査会合における指摘事項回答）
資料1-2：浜岡原子力発電所1号炉及び2号炉平常時における被ばく評価について
資料2：浜岡原子力発電所1、2号原始炉廃止措置計画変更認可申請書について
（ヒアリングにおける指摘事項回答）

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	はい、それでは原子炉規制庁のクロズミですただいまより、中部電力浜岡発電所 1 号機 2 号機、
0:00:07	廃止措置計画変更申請についてのヒアリングを開始いたします。中部電力さんご説明お願いいたします。
0:00:17	中部電力荒牧。
0:00:20	中電力アラマキが説明させていただきます。
0:00:24	審査会合における質問事項の回答と、
0:00:27	ヒアリングにおける質問事項の回答ということで、資料 1 と 2 を準備させていただきますいております。
0:00:34	資料 1 につきましては審査会合における指摘事項の回答資料につきましては、ヒアリングにおける指摘事項の回答ということで、順に説明をさせていただきますだけだと思います。
0:00:48	それではまず審査会合における指摘事項の回答ということで、資料 1-1 をご覧ください。
0:00:56	資料 1-1 の 2 ページになります。
0:01:00	こちらが審査会合の際に、
0:01:04	いただいている指摘事項になります。大きく 1 と 2 に分けてございます。
0:01:11	一つ目、添付資料の 3 の中の熱的切断、
0:01:16	の対象に、この拡張に伴う、
0:01:22	解体工事に伴い発生する粒子状放射性物質の環境への、
0:01:27	放出量評価等の妥当性について説明することという、

0:01:31	二つ目。
0:01:32	が、保管区域の変更に伴う直接線スカイシャイン線の洗浄評価等の妥当性について、
0:01:39	ご説明させていただければと思っております。
0:01:46	少しまた、
0:01:48	それでは資料 2、1-2 でご説明させていただきます。
0:01:53	資料 1-2 につきましては審査会合の際に、補足説明資料として出させていただいたものに、
0:02:01	今回の指摘事項を反映させたもの。
0:02:05	の資料となっております。
0:02:08	今回いただいている書式事項のまず一つ目。
0:02:12	になります。資料 1-2 の 4 ページ。
0:02:15	なります。
0:02:19	熱的切断の対象。
0:02:21	について、
0:02:24	の説明の部分になります。
0:02:27	再熱的切断はどのようなものを対象にしているかというところを具体的に記載させていただいております。
0:02:34	熱的熱的切断の対象は、第二段階対象設備のうち、機械的切断では困難非効率となる部位、
0:02:42	括弧タンク類、

0:02:44	大口径配管等の大型機器を対象に採用するということで、挨拶計画に書かせていただいて、申請させていただいています。
0:02:53	具体的には、
0:02:55	下の三つのポツ、
0:02:57	で、列挙させていただいている通りの対象機器と、
0:03:02	と考えています。
0:03:04	タンク類としましては、札幌サプレッション・チェンバ復水タンク、
0:03:10	大口径配管につきましては主蒸気系配管や、
0:03:14	旧復水系配管。
0:03:16	その他大型機器につきましては、
0:03:18	余熱除去系のポンプや、
0:03:21	紙蒸気隔離弁、
0:03:23	そういったものを対象として適切ダンノ対象を選定させていただきます。
0:03:28	こちらが、熱的切断対象の具体で、
0:03:32	とあります。
0:03:35	続きまして 5 ページになります。
0:03:37	こちらからが、被ばく評価の説明になります。
0:03:42	先ほどの 4 ページで対象として選定したものに対して、
0:03:46	評価を行っております。また、
0:03:49	機械的切断に、
0:03:51	分類したものに対しても、評価をそれぞれ行ってございます。

0:03:57	評価方法としましては、5 ページの真ん中にございます表の 3-3 の通り、パラメータを設定して評価をしてございます。こちらを具体的に説明させていただければと思っております。
0:04:12	これまでも機械的切断において、2 種類の条件を設定して評価をして、
0:04:20	ございます。
0:04:21	こちらは衛藤。
0:04:24	現実的条件と保守的条件ということで理解させていただいて、ご説明させていただければと思っております。
0:04:32	現実的条件と分析条件それぞれで、
0:04:35	機械、切断時の、
0:04:38	欠損の積率、欠損面積率、
0:04:43	と。
0:04:43	汚染拡大防止囲いフィルターの有無。
0:04:46	の、
0:04:47	パラメータをそれぞれ設定して、
0:04:53	環境への放出量の評価をまず行ってございます。
0:04:57	表 3-3 に、
0:05:00	メッセ。
0:05:01	ございます通りで、江藤破線の、
0:05:04	青の四角のところが現実的条件ということで、
0:05:09	決算率であったり、汚染拡大防止ヒーターありということで設定してございます。

0:05:15	隣の、
0:05:17	青い四角、
0:05:19	で囲ってございます。
0:05:21	ところが、保守的条件ということで、
0:05:23	欠損率についてはもう少し大きく、
0:05:27	汚染拡大防止フィルターにつきましてははないということで、星側で、
0:05:32	評価するという条件を設定してございます
0:05:37	それぞれ、
0:05:38	具体的に今回やってき切断を、
0:05:42	追加して、対象を拡張したということで、
0:05:48	新たに設定したパラメーターについて、
0:05:51	その下の①から③で具体的にご説明させていただきます。
0:05:56	まず決算容積率と決裁面積率です。
0:06:00	こちらは、熱的切断を想定して、
0:06:03	機械的切断、
0:06:05	同じような形での欠損幅ということを設定適用しております。
0:06:10	車線拡大防止入れた。
0:06:12	の捕集効率を考慮する場合、現実的条件と、
0:06:17	考慮しない場合の保守的条件でそれぞれ設定してございます。
0:06:22	次のページが、設定の内容となります。
0:06:26	ページの上段に図と表で示させていただいております。
0:06:31	現実的条件につきましては、

0:06:34	切断をする、切断編が、
0:06:37	100 センチか。
0:06:39	1001100 センチを想定し、
0:06:43	保守的条件につきましては、
0:06:46	小さく切断する、40 センチ 40 センチの切断品を想定してございます。
0:06:52	今回の熱的切断の追加に関しましては、欠損、切断長につきましては 同じ機械的切断と同じ条件、
0:07:01	欠損半分につきましては、
0:07:04	ハンドブック、
0:07:06	ハラ、
0:07:07	設定して、
0:07:09	切断幅を設定してございます。
0:07:13	結論面積率については切断長と切断幅の
0:07:19	ハラ算出してございまして、表の通りの値を適用して、
0:07:26	評価を、
0:07:27	行ってございます。
0:07:31	続いて、②になります。
0:07:33	こちらが、
0:07:34	放射性物質、放射性核種の配置中履行率になります。
0:07:39	はい。10 移行率ですけれども、
0:07:41	こちらは、
0:07:43	ページ、

0:07:44	5 ページに戻っていただきまして、表の 3-3 の※1 に記載してごさいます通り、
0:07:52	すいません次が、
0:07:54	けれども、こちらの出し方としては、先ほどの、
0:07:58	決算容積率、またはフィッション面積率にゆ融資期間率を掛けたものを、海中移行率としてごさいます。
0:08:07	その理由市場、
0:08:09	粒子の飛散率につきましては、
0:08:12	ハンドブックから、
0:08:15	設定してごさいます。
0:08:16	パターン保守的に評価を行うために、
0:08:19	適切団による飛散率につきまして、トリチウムとカーボンについては、全量バス状の放射性物質となることを想定して、
0:08:28	イデをしてごさいます。
0:08:32	ページの③になります。
0:08:35	フィルターの捕集効率についてです。
0:08:37	こちらも同様に、保守的にな評価を行うために、熱的切断、
0:08:43	夜、
0:08:45	発生、フィルターの捕集効率の、
0:08:47	方に関しましては、トリチウムもカーボンについても、全量ガス状の放射性物となることとし、
0:08:54	汚染拡大防止フィルター及び建屋フィルターでの捕集効率をゼロ。

0:08:59	とした上で評価を行ってございます。
0:09:03	こちらのパラメーターを用いて、
0:09:06	環境への放出量と線量の評価を行ってございます。
0:09:12	こちらの、
0:09:13	計算結果が、添付資料の 2 から 13 に、
0:09:17	してございます。
0:09:22	少し、生データを、
0:09:24	を持ってきているので、複雑な表になってしまっているかと思いますが、
0:09:31	ご説明をさせていただければと思います。資料の構成としましては、
0:09:37	添付資料 2 から、
0:09:40	10 の中で、
0:09:42	まず、1 号機の現実的条件を用いた機械切断による被ばく評価。
0:09:49	1 号機の現実的条件を用いたんです。
0:09:53	面における被ばく評価。
0:09:55	そしてその次に、
0:09:57	その合計の評価。
0:09:59	という形で、続いて、1 号の保守的な条件 2 号の現実的な条件、2 号の保守的な条件というふうで、
0:10:10	資料を、
0:10:11	作らせていただいております。
0:10:14	その中で、

0:10:18	たくさんございますので、今現状、計画書上に記載しているもので、評価に用い、最終的な評価として、
0:10:28	用いているものが保守的条件から、設定してございますので、保守的条件で1号機の保守的条件のところでご説明させていただければと思っ て、
0:10:38	言います。
0:10:41	1号機の保守的条件。
0:10:44	ありまして添付資料の6。
0:10:47	なります。
0:10:50	こちらの表ですが、構成としまして、
0:10:53	左側に、
0:10:59	すみません、添付資料5から説明させていただければと思います。ま ず、機械的、1号機、保守的条件を用いた機械的切断における被ばく評 価になります。
0:11:10	こちらの表の構成になります。
0:11:13	左側の表が、
0:11:15	機械的切断、
0:11:17	そして、
0:11:18	選定した対象の設備中の、
0:11:23	放射性核種の存在量を、
0:11:25	評価対象の55核種。
0:11:28	について記載してございます。

0:11:31	こちらから、次の右側の表で、
0:11:36	気体廃棄物の放出量を計算して、
0:11:39	年間の
0:11:41	それぞれの核種に対する年間放出量を求めてございます。
0:11:46	その年間放出量から、五つの、
0:11:50	被ばく経路ごとに、
0:11:52	どういった線量になるかということ、
0:11:55	計算した結果が、その右側にございます。
0:12:01	真ん中より少し右の合計というところで、
0:12:04	五つの被ばく経路。
0:12:07	ハラ。
0:12:08	の種目評価結果の合計値を示してございます。
0:12:12	今回被ばく評価に関しましては、90%以上の核種。
0:12:17	あと被ばく経路ごとに90%以上、
0:12:21	占める核種について、表、最終的に評価としてまとめてございまして、一番右の市長に、
0:12:30	表で、1000、各被ばく経路と、
0:12:35	核種に対する線量、そして、そのそれぞれの被ばく経路、
0:12:40	の中での、
0:12:42	線量の、
0:12:44	寄与率占める割合を、
0:12:46	示した表になってございます。

0:12:50	表の黄色でハッチングしてある部分につきましては、
0:12:54	各被ばく経路、
0:12:56	の中で、
0:12:57	90%以上を占める核種で、
0:13:00	かつ最終的な評価として、評価核種として、
0:13:06	選定したものをハッチングしてございます。
0:13:10	表の構成につきましては、このような形で、
0:13:13	解体対象物の存在量から、年間の放出量を算出して、各被ばく経路ごとに線量を出して、
0:13:21	その割合を確認して、90%以上の核種が、
0:13:26	どの核種でこういった割合で含まれているか、こういった線量になるかということ、
0:13:32	それぞれの条件に対して、
0:13:34	してください。
0:13:38	添付資料 6 につきましては、
0:13:41	1号機の保守的条件を用いた熱的切断における被ばく評価。
0:13:47	なります。
0:13:48	こちら構成としましては同じ構成になってございます。
0:13:52	一番左の表で、
0:13:54	今回熱的切断の対象として選定した設備の中に含まれている。
0:14:00	放射性核種の存在量を示してございます。
0:14:04	それを用いて、先ほどと同様に、

0:14:07	時代の
0:14:09	廃棄物の放出量、そして、各被ばく経路の被ばく線量を出してごさいま す。
0:14:18	添付資料の 5 と 6 の、
0:14:20	合計を、
0:14:22	示したものが、添付資料の 7 になります。
0:14:26	こちらは、添付資料 5 で、機械的切断対象として被ばく評価をしたもの と、
0:14:32	添付資料 6 で持ってきて切断対象として被ばくしたもの。
0:14:37	線量評価の合計に、
0:14:41	こちらは、
0:14:43	各被ばく経路の 90、
0:14:46	%以上の核種の
0:14:49	合計値を確認しております、
0:14:52	こちらを計画書に、
0:14:53	最初でございませう。
0:14:59	今の添付資料 7 の、
0:15:01	集約をしたものが、
0:15:04	少し前に戻りますが、補足説明資料の 8 ページ。
0:15:11	表 1 の各被ばく経路における被ばく 90%以上を占める核種としてまと めて、
0:15:19	してございませう。

0:15:23	この合計値の、最終的な実効線量の 3. 約 3.3 表の、
0:15:29	右の下の、
0:15:31	ところになりますけれども、こちらが、
0:15:33	1号機の
0:15:35	実効線量の合計の評価ということで、
0:15:39	こちらも計画書に記載してございます。
0:15:42	評価の中身としましては、このような形で、それぞれ液解析切断の対象物の評価、
0:15:50	対象、
0:15:52	それぞれの評価条件で行う。
0:15:54	した後に、合計値を、
0:15:57	集計して、
0:15:59	計画書に記載するという形で、
0:16:02	評価をしてございます。
0:16:19	続きまして、
0:16:21	質問、ご質問、ご指摘いただいて、
0:16:24	している。
0:16:28	ナンバー2 になります。本区域の変更に伴う直接線スカイシャイン線の線量評価等のなさ妥当性について、
0:16:36	こちら資料 1 で、2、1-2 でご説明させていただきます。
0:16:42	こちらは、
0:16:43	11 ページ。

0:16:45	から、2、
0:16:48	スカイシャイン、直接線スカイシャイン線の評価ということで、保管区域、
0:16:53	補完するものに対して、
0:16:57	それが評価として妥当かというところを、
0:17:04	保管条件としましては、
0:17:07	対象物として、今回申請した解体対象物を加えた、第二段階対象設備 のL3 廃棄物を想定してございます。
0:17:16	こちらの総放射エネルギーは合計で約 2.3×10^{-12} 条ベベルとなっております。
0:17:24	今回のスカイシャインの評価においては、
0:17:26	追加した保管予定区域を包含するように、
0:17:30	保守的になるように各フロア前面にL3 廃棄物を収納した保管容器を保管 することを想定して、
0:17:39	その後段にあります、との破綻条件を用いて評価を行ってございます。
0:17:46	まず、L3 廃棄物の保管状態と保管容器の診療っていう
0:17:52	ところでございます。
0:17:53	各フロアの前面にL3 廃棄物を保管する状態を、
0:17:58	以前する建屋及びタービン建屋の構造を模式方式的に扱って評価を行 ってございます。
0:18:04	ただし、

0:18:05	評価をする中でCAQ建屋の最上階は、周辺公衆の被ばく線量への寄与が大きいということで、そういったことを考慮して、L3 廃棄物を保管することを想定しないってということで、
0:18:18	条件を設定させていただいてございます。
0:18:22	下の絵がイメージ図になりまして、
0:18:25	最上階の原子炉建屋の真ん中部分ですと5階、タービン建屋リスト三階といったところで、一番上の、
0:18:33	サイン相当する部分。
0:18:35	つきましては、
0:18:37	L3の廃棄物を保管しないということで考えてございます。
0:18:41	また、
0:18:44	各建屋の最上階の直下部。
0:18:46	につきましても、被ばく線量の寄与を考慮して、
0:18:51	保管容器の表面から1メートルの線量当量率、
0:18:55	1mSvバーは、
0:18:59	あまりのものを保管することね。
0:19:01	ございます。
0:19:02	こちらは、可能な測定下限の目安値ということで、こちらを設定させていただき、
0:19:08	ございます。
0:19:10	こちらが、図の中の緑の斜めの線で示した部分ね。
0:19:15	それ以外の部分につきましては、

0:19:18	保管容器の表面から、
0:19:20	1メートルの距離での線量当量率が、
0:19:24	100mSvパーアワーまでのものを保管することを想定してございます。
0:19:29	こちらの100mSvというのは、発電所内の運搬時の制限値、
0:19:34	なりまして、こちらを適用させていただいて、
0:19:38	指定をさせていただいてございます。
0:19:42	続いて宣言の条件になります。
0:19:46	保管容器、
0:19:47	ページ12ページの(イ)。
0:19:51	すぐに、
0:19:54	線源条件につきましては、汎用機を、
0:19:57	1000億の容器を想定して、
0:20:01	で用いた保管容器の表面から1メートルでの、
0:20:05	線量当量率に対する線源強度を、
0:20:12	えーと、
0:20:13	でございます。
0:20:15	表の部分に示す通り、100mSvで、
0:20:20	下あたりの線源強度が、コバルト想定で2.46の中の苦情、
0:20:28	1mSvパーアノ。
0:20:31	ここにつきましては、
0:20:33	1箱当たり2.4620-7乗。
0:20:37	てくれるという線強度を、

0:20:40	について、
0:20:42	各フロア、
0:20:44	設定。
0:20:46	また、保管する各フロアの面積から割り出される保管容器の数量を用いて、評価上のL3の、
0:20:53	放射エネルギーを、
0:20:55	でございます。
0:21:01	その結果、表の課題になりますけれども、評価に用いたL3の廃棄物の総放射エネルギーは約1.2直で次の14条出ている。やはり、
0:21:11	前述した二段階対象設備のL3廃棄物の総放射エネルギー約 2.3×10^{20} 日に比べて、
0:21:19	自分、
0:21:20	保守的な評価であるということを確認してございます
0:21:25	こちらを、
0:21:26	評価条件として設定して、
0:21:30	Pページ13ページの、
0:21:32	(2)の評価コード。
0:21:36	線源についてはKDのコードを用いて、
0:21:39	スカイシャイン線については爺さん工場を用いて評価した結果、
0:21:44	被ばく評価、
0:21:47	に対して、これまでと変わらないということでしょうか。
0:21:52	そして、

0:21:54	安全性を確認してございます。
0:21:57	以上が、
0:21:59	直接線スカイシャイン線の線量評価等の妥当性についてというところで ご説明させていただき、
0:22:10	続きまして、ヒアリングいただいている質問、
0:22:15	指摘事項の回答ということで資料 2、
0:22:18	でご説明させていただきます。
0:22:22	中部電力のテラサワが、資料 2 についてご説明させていただきます。
0:22:27	指摘事項としましては、熱的切断に対する火災防護対策について説明 することと認識をしてございまして、
0:22:37	こちら資料 2 のスライ 2 ページ目をご覧ください。衛藤海藤。
0:22:54	宮澤さんすいません該当の資料 2 ってどこかに共有とか、格納とかされ てますかね。
0:23:03	資料 1-1、2-1、いつも 2 の、
0:23:08	二つ。
0:23:09	タップだと思うんですけども、
0:23:12	ちょっと待って、資料 1-1 と 1-2 ですよ、共有してたって、
0:23:19	それをもらったのでちょっと見えます。
0:23:28	あったら、何これ。
0:23:31	李と浜嘉門か。
0:23:41	ちょっと待ってくださいね。
0:23:44	ドライブの中にもこれしかないけど、

0:23:47	土、
0:23:50	期間、
0:23:52	口を、
0:23:55	Source資料 1-1 と 1-2。
0:23:58	だけもらう。
0:23:59	出たかと思うんですがこれ確か、ちょっと、
0:24:06	そうだなあ。
0:24:14	宮嶋さん。
0:24:17	宮嶋さん、今メールで送ってもらいます。
0:24:21	こっちは印刷して、
0:24:23	こちらに配りますので、
0:24:26	わかりました。すみません。
0:24:33	これしかないな。
0:24:54	と規制庁トガサキですけどさ、先に、先ほどの資料の説明に対する、
0:25:01	質問を始めたいと思いますんで宮嶋さんか原さんから。
0:25:05	質問お願いします。
0:25:08	まず私から、
0:25:10	いいですか。
0:25:13	お願いします。
0:25:17	はい。規制庁宮嶋です。まずちょっとスカイシャイン線の公衆被ばくの評価についてちょっと

0:25:26	確認が1点だけあります。この保管方法、11ページで示してもらってる保管方法なんですけれども、これは現状及びその直下、
0:25:38	以外に、L3を敷き詰めましたというこれで保守的な評価ですよという話を、
0:25:44	だったかと思うんですが、
0:25:46	これ、NIIとかはどこに保管するんでしたっけ今後の評価かなと思うんですけれども今後段階が進んでいくにつれては図とかも出てくるのかなと思うんですけれどもその場合ってどういう評価をされるつもりでしょうか。
0:26:00	中部電力荒牧です。
0:26:02	LII湾につきましても、今後、解体を、
0:26:08	申請して、させていただくタイミングで、改めてほかに関しても評価を行って、
0:26:15	保管に関しても安全性が確認されていることを、
0:26:19	評価した上で申請させていただくことを考えてございます。
0:26:25	はいありがとうございます規制庁ミヤジマです。となると、今、表カーズではこのように満タン満タンに入れてるんですけれども、おそらくこのビーチだったりBだったり、タービン建屋だったり、ビーチだったりという深いところに、
0:26:40	この青い、あと1メートルの100マイクロの廃棄物、
0:26:46	と、あと1メートルで結構な線量の廃棄物っていうのを入れ替えて評価をされる。

0:26:53	ようなイメージでしょうか。
0:26:56	中部電力荒牧です。
0:26:58	保管の場所につきましても、今後検討をしていくことを考えてございますが、線量が高いので下の方の階で想定して、
0:27:08	改めて青の部分を、例えばL1、L2の廃棄物に変えて評価するとして、保管状態を、数設定した上で評価をしていくことを考えてございます。
0:27:24	はい。規制庁宮嶋です。はい、わかりましたで衛藤。
0:27:29	今満タンのこれで、
0:27:31	満タンの状態で保守的な評価ということですので、
0:27:35	今後段階踏んでいくにつれて、
0:27:40	いっぱいにならないっていうところも保管、
0:27:44	するよ、容量についても、余裕があるのかということも確認していきたいかなと思っております。
0:27:50	スカイシャイン線のところについては以上です。
0:27:57	はい深田さん何かありますか。
0:28:00	はい。規制庁福原ですけれども聞こえてますか。
0:28:06	問題ないです大丈夫です。
0:28:08	はい。江藤。何点かあるんですけども、まず同じところろうなんです が、
0:28:17	天井階天井というか、一番上の階にL3を置いた時の評価というのは されましたか。ごめんなさい。

0:28:27	何が聞きたいかという、上の階にいるさんおいオクとですね評価っていうのが変わってくるんでしょうか。
0:28:38	中部電力荒牧でございます。すみません手元に評価結果の詳細がないんですけれども、
0:28:45	実際は、いろいろな条件で評価をしております。
0:28:51	やはり床を1枚かマツノ2枚かましていうところで、遮へいの効果が
0:28:58	見られるということがわかっていますので一番最上階で保管をしますと、
0:29:04	その分だけスカイシャインに聞かなくていうことを確認しております。
0:29:16	はい。規制庁福原です。理解しました後同じところでもう1点なんですけれども、裁量かいいには、L3 廃棄物を保管することを想定しないということが11ページあるんですけれども、
0:29:32	上のための確認なんですけれども、今後、L3 廃棄物は最上階には置かないというそういうルールを、
0:29:42	江藤そういうでいくつもりですか。
0:29:48	中部電力荒牧です。そのように考えております。最上階には保管区域、
0:29:54	を設定しないということで申請をさせて、
0:29:59	いただいております。他、L3 は保管区域に保管することになってございますので、
0:30:04	保管区域上も、最上階には保管区域を設定してございません。
0:30:11	ので、L3、最上階に保管することはないと考えております。

0:30:23	はい。規制庁福原です。そのことは、最上階にはL3、
0:30:33	どこかルールでか書くものでしょうか。例えば保安規定に基づく二次文書を三次文書に書くというイメージでよろしいですか。
0:30:43	規制庁クロズミツカベさんちょっと最初の方がですね音声乱れましてもう一度ちょっとお伺いしてもいいですか。
0:30:52	すみません規制庁福原ですけれども、今聞こえてますか。
0:30:57	はい問題ありません。
0:30:59	はい。先ほどのところなんですけれども、L3については最上階に置かないというルール。
0:31:08	それは御社の中でのルールだと思うんですけれどもそのルールはどこで、
0:31:14	どのように記載されますか。
0:31:18	中部電力荒牧です。現状も保管区域は、保安規定の中でも設定して載せてございます。
0:31:26	今回拡張した保管区域に関しましても、
0:31:30	保安規定に同様に掲載して、そこに行って管理をしていくことを考えてございます。
0:31:40	はい。規制庁福原です。了解しました後、
0:31:44	細かいところ2点事実確認をさせてください。添付資料の、先ほどご説明いただいた表のところなんですけれども例えば添付の6とか8とか、
0:31:59	なんです、ちょっと対単位ですね、単位のところ、表の一番上、
0:32:07	の行。

0:32:09	オレンジ色の部分のところに単位を書いてて、
0:32:14	シーベルト、シーベルト%スモールAとあるんですけども、すいません勉強不足でごめんなさい、C、Aって何でしょうかシーベルト%えー、
0:32:25	中部電力荒牧でございますすみません単位を統一してなくて、Aというのはアニュアルという意味でイヤーと同義。
0:32:33	として用いております。
0:32:35	わかりました。
0:32:37	あとですね最後に、最後にとかこの資料については最後に私の方から、6 ページ。
0:32:48	資料 1-2 の 6 ページになるんですけども、
0:32:52	上の 6 ページの上の表がありまして、
0:32:57	ご説明いただいたんですけども、ちょっと再確認、ちょっとついていけなくてですね
0:33:04	6 ページの上の表がありまして機械的切断と熱的切断とありますと、切断長が 100 センチと 40 センチというのが書いてあって、
0:33:19	100 センチの方は、現実的な話で 40 センチは保守的な場合の話で、この 100 と 40 というのは、ハンドブックから持ってきた値、
0:33:32	何かその深い意味があるのではなくって典型的な代表的に 100 度 40 というのを、
0:33:39	使って評価しましたよそういう理解でよろしいですか。
0:33:43	中部電力荒牧でございます。切断長につきましては、
0:33:48	こちらで設定させていただいてまして、

0:33:51	解体で実際にする、収納する容器を想定して、大きく切断するものと小さく切断する、小さく切断するとその分、
0:34:03	欠損の割合が大きくなるということで、
0:34:06	結節断腸につきましてはこちらで設定させていただいております。切断幅の熱的切断の部分、今回追加した部分につきましては、ハンドブックから、
0:34:18	値を設定して、
0:34:21	評価をしてございます。
0:34:29	規制庁フクハラですけれども、切断長については御社の方で設定して待つよと、百選じ。
0:34:39	鶴馬場フェブ園地。
0:34:42	直せ。はい。
0:34:44	当然、現実的、いろんな形で切断をする、1人。
0:34:59	渋谷にコアラマキです。
0:35:01	現実的と保守的という言葉で使い分けさせていただいてるんですけども、
0:35:08	衛藤。
0:35:09	フィルターのないも含めても現実的という表現を使わせていただいております。切断の幅につきましては保管容器の種類も、幾つかございますけれども、その中でも、
0:35:23	切断編が大きいもの、
0:35:27	で、

0:35:28	保守的な表現と対比する形で設定させていただいております。保守的な表現、保守的な評価につきましては、小さい切断になるものとして、
0:35:38	40センチを設定させていただいております。
0:35:44	規制庁、福原ですすみません、私の聞き方が悪かったです。
0:35:50	まず、ここについて私が確認をさせていただいてるきっかけがどうして100と40なんだろう。
0:36:01	ていうのがまずあります。
0:36:04	なぜ100度40なのか、これは、
0:36:09	特に深い意味はなくて、
0:36:11	代表的にエリアで決めてる辺り、そういう認識でいいですか。
0:36:16	中部電力荒牧です。おっしゃる通りでございます。
0:36:22	規制トップからです理解しました。とりあえず、この資料については私からは以上です。
0:36:33	規制庁のテラノですすみません何点かごめんなさいついていけない部分もあって何点か教えていただいご説明いただきたくて今回被ばく評価、縦の、
0:36:44	保管場所もふやして、そこに廃棄物入れます。他、
0:36:53	入れる予定はない。
0:36:57	はい、今回、大家塩田イシイでは、そうすると、第2弾、成長のテラノですけど第二段階でも一応NⅡの廃棄物は発生する。
0:37:08	節理でそれのこと。

0:37:14	中部電力アラマキでございます。NⅡに関しましては除染後L3になることを想定してございますので評価としましては、除染した上でL3にして保管することで評価を行ってございます。
0:37:34	規制庁アノ形状のテラノ谷津ありがとうございますそうすると結果としても、NⅡで発生したものをL3にも除染してということでおっしゃった、おっしゃっていた。
0:37:44	補完するものは、L3、
0:37:52	L3 計上の手なので、L3 の廃棄物だけが保管されますよってという記載は、
0:37:59	申請書の中には出て、
0:38:01	ますますちょっと見込みで、
0:38:15	すいません。
0:38:17	ちょっと中部電力の寺澤です。
0:38:20	計画書と、あと保安規定の方にも、今、今時点で、
0:38:26	保管区域に置くものとして放射性の不燃性雑固体廃棄物L3ということで、もう縛りがかかっているような状態です。
0:38:35	今回そこは特には、変更がないのでそのままの記載になってまして。
0:38:40	保管区域の設定予定区域を広げますよっていう、今回の申請、変更申請になってございます。
0:38:49	説明以上です。
0:38:57	ありがとうございます。またすいません改めてちょっと資料背景、確認させていただいてます。ちょっとわからんけんあったら、

0:39:04	すいません。
0:39:34	今回の市アノツジオノテラノでセト資料の 1、資料規制庁の世良です。 資料の 1-2 の
0:39:45	6 ページ目、ごめんなさい。
0:39:50	5 ページ目の、
0:39:54	5 ページ目のところの熱的切断の部分で、
0:39:59	今回熱的切断によって、ガス状のもの、ガス状のトリチウムだったりカーボン 14 だったり、全量個数を想定されますよってということで、
0:40:10	表の 3-3 の配筋中の移行率っていうのがここに出てきてそれとの関係効率は、
0:40:17	これはまた別。
0:40:21	線量は全量放出、存在するものは全部出てきますよっていうご説明と、排気中に効率っていうのを設定されて括弧書きで、熱的切断の、
0:40:33	2 から 2 番目の、
0:40:34	別だと。
0:40:36	5.6×10^{-1} 以上を想定されているというところですがちょっとまだ、理解が追いついてなくてこの辺りを詳細にご説明いただけると、
0:40:45	理解が進んだ。
0:40:48	中部電力の荒巻です。排気中移行率に関しましても、
0:40:55	粒子状で、は
0:40:58	飛散するものへと排気中の移行率の中の粒子状飛散率というところに、

0:41:05	関わってくるんですけども、粒子状飛散率につきましては、粒子で、
0:41:13	発生するものに対して、こういう値、
0:41:17	期待として発生する場合はこういう値ということで、
0:41:21	ハンドブックの中で、しめさせしめ、
0:41:26	して、
0:41:26	ございます。その中で、保守的な評価を行うために、トリチウムのカーボンにつきましては、そのハンドブックのナカノ値のうちで、ガス状で発生するという方の値を、
0:41:39	指摘をさせていただいてください。
0:41:44	規制庁。
0:41:46	例えば日石切断の左側の 5.6%の欠損
0:41:51	面積率のところだと、5.610 のマイナス上だけ出てきてそれが結局フジタ通す時には何も引っかからないで出てきますっていうそういう理解。
0:42:01	以前旅行するってことですかね。
0:42:03	中部電力荒牧でございますの通りでございます。
0:42:16	すいません。はい。以上です。
0:42:22	規制庁のトガサキですちょっと新しいからちょっと幾つか質問があるんですけど、
0:42:28	まずですね最初の、
0:42:32	資料 1-2 の 4 ページの
0:42:36	ところですね、これは、

0:42:41	申請書ではあれですねこの鍵括弧の機械的切断では困難非効率となるべき(オ)タンク類。
0:42:50	オカ大口径配管等の大型機器。
0:42:54	加工を対象に檀日赤切断を採用するってなってるんですけど、
0:42:59	確かこの前の審査会合での、
0:43:05	概要説明では、
0:43:07	これがみんな並列になっていて機械的切断ではこんな非効率となる部位、
0:43:13	汚染の恐れ、恐れのある汚染のあるタンク類、
0:43:18	大口径配管等の大型機器、
0:43:22	という表現だったと思うんですけど。
0:43:25	これこれはずどちらが正しいんですか。
0:43:36	中部電力の田村でございます。
0:43:38	前回の、
0:43:40	審査会合でお示しさせていただきました資料の中ではですね、
0:43:46	本日、ご用意していない資料なのでちょっと読み上げますけれども、工事方法は既は機械的切断を基本とし、
0:43:55	熱的切断は、
0:43:58	実態としてクリアランス相当程度のものに適用してきたが、今後は汚染のあるタンク類、大口径配管等の大型機器の解体も想定されると。
0:44:08	いうことで、対象としましては、

0:44:12	汚染のあるという文言は少し今回の記載にはちょっと入っておりませんが、それ以外のところは、同じかなと考えてございます。
0:44:22	意図としては同義ではあります。規制庁トガサキです。
0:44:26	そうするとですねまだ今の4ページで言うと、この括弧の前に汚染のある、
0:44:33	タンク類というふうにははい。
0:44:36	入ったものが、
0:44:39	そういう数、今考えられていることというふうを考えてよろしいですか。
0:44:45	はい。中部電力の田村でございます。はい、おっしゃる通りです。今まではクリア相当まで除染したものに限るところですけれども今後は、3廃棄物ということで、汚染が残った状態でも、
0:44:56	切るというところで、汚染があるという言葉、概要資料の方には書かせていただいております。
0:45:02	規制庁のトガサキですそれでしたらちょっとまず概要の説明資料には、
0:45:08	そのタンク類の前にその汚染のあるっていうのを、
0:45:12	追加していただいた方がいいと思うんですけどいかがでしょうか。
0:45:19	中部電力田村でございます。承知いたしますこちらは、
0:45:23	補足説明資料の方に、詳しく説明させていただくと。
0:45:27	というか、ちょっとまずちょっと、これからいろいろとそれを前提に確認してきますので、はい。まず、事実関係として、申請書等、
0:45:37	が、この前の審査会合での説明概要説明で説明されたこととその事実ですね、それをちょっとまず確認したいと思いますので、

0:45:48	まずですね汚染のあるタンク類っていうのが対象になるというのはわかりました。で、続いてですね。
0:45:55	そうするとこの括弧の中っていうのは汚染のあるタンクでいいと、大口径配管と
0:46:03	江藤の大型機器っていうのは、だからその他の大型機器っていうふう に、あれですね、読むと思うんですけど、そのときに、全部その困難、非 効率となるとなるというのが書かれていると思います。
0:46:19	で、それぞれその理由を説明していただけますか。
0:46:28	はい。中部電力の田村でございます。
0:46:30	ここに、
0:46:32	列記させていただきましたものはあくまでもこの接液切断を評価する時 に用いた
0:46:40	対象として選出した機器たちの例として挙げさせていただいてございま す。まず機械的切断で困難というところは、様々な理由がございます。 ですが、
0:46:52	まず、
0:46:53	ベースとしてありますのは、肉厚が大きく効いてきます。
0:46:58	機械的切断ですと、作業員が手で
0:47:02	レシプロキノコセーバーソーと言われる機械で切っていくっていうところ だと、ものすごく時間もかかりますし、被ばくが考えられる環境ですと、
0:47:12	被ばくっていうところも効いてきます。あとは高所で作業させるっていうと ころもございます。そういったところを加味しますと、

0:47:19	熱的切断を採用することで、そういった他の安全というところに提供してきますので、選択をさせていただくというところがございます。
0:47:29	ですが、やはり、
0:47:32	熱できるっていうところだと、
0:47:35	火災っていうところのリスクが出てきますので、まずは原則、熱的切断というところは、
0:47:42	行わないという、
0:47:44	制限を設けた上で、それでもなお、
0:47:48	熱で切った方が合理的であるというところを、社内手引きの方でもすでに定めてございますけれども、その中で、
0:47:55	確認した上で切っていく。
0:47:57	いうところがございます。
0:48:01	はい。まずは、肉厚というところが、効いてきます。あとは、
0:48:06	作業環境ですね、高所、或いは作業性、そういったところで決めてございます。
0:48:12	はい規制庁のトガサキサノここはですね。
0:48:16	ちょっとか、ちゃんと確認しないといけないところだと思ってましてというのは、会合でも議論したと思うんですけど、基本的にはそのクリアランス程度のものしか、
0:48:28	そういう熱的積算というのは今までやらないっていう申請だったと思うんですけど、それを

0:48:37	機械的切断ではこんな非効率なものについては、その範囲を広げて、熱的切断をやるってということになると思います。
0:48:48	熱的切断になると、おっしゃられるように、
0:48:52	公衆の被ばく評価ですね、の方にその影響が出てくると思いますので、だからその範囲をですね、
0:49:02	どういう所条件で広げるのかですね。
0:49:06	そこをちょっと詳細に確認したいと思ってます。それで、
0:49:10	先ほどのご説明だといずれも、その 2、肉厚肉厚が厚いものという話でしたけど、それどれぐらいを考えてるのかですね。
0:49:21	ただ、当時はもう肉厚が厚くても機械的切断でクリアの数でないものはやるという申請だったのが、
0:49:30	今度は考えようと変わったわけですね。
0:49:33	そののところをまず説明していただくのと、特にこの先ほどちょっと抜けてた汚染のあるタンク類を、
0:49:40	その本当除染しないで、機械的切断ではなくて、ミズタ的制度をやるときに、
0:49:47	先ほどのご説明だと、原則についてはやらない。
0:49:52	けど、困難な場合は機械的切断にある、にするっていうですね、考え方を、
0:49:59	どういうふうに適用させるのはですね、
0:50:01	そこら辺をちゃんとせ説明をしていただきたいというのがこの質問のともとの趣旨です。

0:50:10	そこをちょっと踏まえたご回答というのをお願いしたいと思ってます。
0:50:20	中部電力の田村でございます。はい、承知しました。
0:50:23	設備の一つ一つですね設備の設置状況とか、そういった作業性を加味して一つ一つ現場で、これではもう機械では切れないという判断をしていくってところが、実態でございますけれども、
0:50:36	まずは範囲というところ、どういったものに対して、困難であるということはお示しできるようにさせていただきたいと思います。
0:50:45	はい。規制庁のトガサキアノこの困難非効率となるっていう前提がなければ、もうほとんどの設備が、これ寝付けキ一切断できるっていうふうに、
0:50:58	読めてしまうと思うんですよね。
0:51:01	等というのもあり、ありますし大型ものものは全部、熱的切断で切れるというふうに、
0:51:08	ここ読めてしまうんですよ。
0:51:10	だからこの困難非効率となるっていうですね、前提条件とか、あと先ほど汚染があるっていうのを踏まえて、どうするのかっていうことを、
0:51:21	ちょっとどういうふうに考えてるのかっていうのをちょっと確認したいと思ってます。
0:51:31	それをその前提で、
0:51:34	次のちょっと質問に移るんですけど、
0:51:38	今度、

0:51:41	6 ページですね、6 ページの方で先ほどもちょっと議論があったんですけど、この切断のまず大きさですね、切断の大きさっていうのは、次、100 頭 40 というあるんですけど、
0:51:54	先ほど代替できましたって話があったんですけど、本当にこの幅の中に入るのがですね、
0:52:02	そそれをちゃんと説明してもらいたいと思い、思います。特に今まで、第二段階の実績とかも多分あると思うんですけど、そう、そういうのも踏まえて、この範囲がちゃんと入るんだっていうことですね。
0:52:15	先ほどノダ大型のものを、これから、今まで機械的で考えてるのも、熱的 2 で説明したとしても、同じようなですね、
0:52:25	大きさを、聞き切るのかどうかですね。
0:52:29	そういう説明が、
0:52:31	必要なんじゃないかと思ってます。
0:52:35	これについてはいかがですか。
0:52:41	中部電力荒牧でございます。切断長につきましては、今用いている収納容器の、
0:52:49	サイズから、
0:52:52	考えてございます。収納容器のサイズにつきましては、スカイシャインでも、想定した 1.6 角の
0:53:01	病気でしたり、クリアランス、
0:53:05	を対象としたような容器出でしたり、解体物を収納するような 50、
0:53:11	掛ける 80。

0:53:13	ぐらいの大きさの要求を想定してます。その中におさまるものとして選定させていただきます、評価をしてございます。
0:53:23	はい、わかりましたじゃ、規制庁の高崎です。そうしましたらそういう情報を追加していただきたいと思います。あと、欠損幅の、先ほどハンドブックから、
0:53:37	持ってこられたってことなんですけど、この
0:53:40	その話が、
0:53:42	資料には、
0:53:45	ハンドブックからっていうのはここには確か書いてなかったと思いますので、その情報を追加していただきたいんですけどできればそのハンドブックの曾我該当のページですね。
0:53:57	それを、
0:53:58	その次の②の、
0:54:01	粒子止端率も同様につけていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。
0:54:09	中部電力荒牧です。承知いたしました。
0:54:12	はい。お願いします。
0:54:14	それとですね、
0:54:18	この計算ですね、計算、
0:54:23	ちょっと説明は、
0:54:27	理解はしたんですけど
0:54:29	まずですね、

0:54:32	先ほどの例えばアノ. ぷーのアノ5とか6で、一番左の方の核種ごとの放射エネルギーというのがあるんですけど、
0:54:44	これは実際は、
0:54:48	先ほど野田から、
0:54:51	ページで言うと、
0:54:55	6ページですね、6ページだからその各配管を、ここ粉切りにして、その時に欠損幅がどれくらいあって、その時に、だからどれくらい。
0:55:07	粒子受
0:55:09	の飛散があるかっていうのを計算して、
0:55:12	その時のその放射能を全部トータルして、それで合計値が出てくると思うんですけど、その過程を知りたいんですよ。だから、先ほど、
0:55:25	最初の質問に繋がるんですけど、今回、その機械だから、どの設備を機械的切断で、どの設備を、
0:55:36	熱的切断で、どうという単位で、機器の種類ごとなのかそういう配管の長さごとなのかわかんないんですけど、それで、
0:55:49	呼気って言って、それでそのときの飛散欠損とか飛散率とかを計算して全部積み上げて、
0:55:57	こういう表の各仕事の
0:56:00	放射エネルギーになりましたっていう話だと思うんですけど、そのところをちょっと見せていただきたいんですよ。特にだから先ほどのこの計算上、

0:56:10	どういふものを機械的でどういふものを熱的でやっているのかっていうのも多分計算されてると思うので、それでそれを見れば先ほど本当だから、
0:56:21	こんなんで、そういう非効率となるようなもの。
0:56:25	ていうのが、熱的で選ばれて、
0:56:28	それ以外は、だからみんな聞かれてあったというのがわかると思うんですけど。
0:56:32	あと、保守的に熱的やってるっていうそういうようなことであればそれもわかると思いますので、その部分を終えるように、
0:56:43	230 でいいと思うんですけどそういういろんなパターンのありますよねだから単に今まで度と同様に機械的切断で、
0:56:53	計算していたものと、今までは機械的切断なんだけど、今回熱的に変えましたっていうのと、あと、今回ツアーの対象になるサブチャンネルとか、
0:57:04	もう最初から機械化熱的とかですね、そういうのはわかるように、
0:57:10	その部分をちょっとつなげていただきたいと思います。
0:57:14	ここについてはいかがでしょうか。
0:57:19	中部電力アラマキで承知いたしました。
0:57:23	はい。
0:57:24	それとあとこっち、ちょっと表の見方でも、ちょっともう1回確認したいんですけど。
0:57:29	添付の、
0:57:33	添付資料の、

0:57:36	これはすいません。
0:57:39	5の方ですかね。22ページの、
0:57:43	一番右引いの、畜産物摂取による内部被ばくっていうのを出すと。
0:57:49	この時点では黄色い部分を足しても、90%以上にならないんですけど、
0:57:59	合計値、合計値の
0:58:02	次の資料の7、7を見ると、
0:58:06	90%以上になってるんですけど、
0:58:09	これはだからさっき宇留野。
0:58:12	熱的と機械的で来足して合計で、90%以上になるっていうので、そう。あれ、選定してるんですか。
0:58:23	中部電力荒牧ですその通りでございます。最終的に、添付資料7で熱的切断時解析切断の評価の、
0:58:31	合計の被ばく評価結果。
0:58:34	が、記載させ、してございます。その中で、各被ばく経路ごとに、90%以上になるものを抽出して、計画書にも記載してございます。
0:58:46	添付資料5につきましてはそれ以外の核種につきましても評価はしてございますが、
0:58:53	ハッチングさせていただいている部分につきましては、今回最終的に評価の対象として文字多核種の部分について、
0:59:02	ハッチングさせていただいております。

0:59:04	はい。規制庁のトガサキです。これ多分、赤井宇津木会合での回答になると思いますので、その 90%以上になるものを選んでるっていうご説明だったと思いますので、そこがちゃんと
0:59:17	わかるように、
0:59:18	説明をお願いしたいと思います。で、持田康考察考察ができるところが あるんであればだから結局、機械的切断の選定核種と、
0:59:30	等熱的切断の選定学習が次、変わってると思うんですけど、
0:59:36	そこの考察ですね。
0:59:38	だから、熱的だとどういう核種が飛散しやすいとかですね。
0:59:42	そそういうのがあったら、
0:59:44	追加していただきたいと思うんですけどそれについてはいかがでしょうか。
0:59:53	中電力アラマキでございます。熱とせ機械の、その評価対象核種の
1:00:00	割合であったりとか、寄与率みたいなところとか評価対象核種に上が てる核種に対して、わかるようにご説明させていただこうと思います。
1:00:11	はい。
1:00:12	ありがとうございます。それとですね、続いて、
1:00:16	規制庁のトガサキですスカイシャイン線の評価の 1011 ページですね。
1:00:22	ここうをちょっと何点か確認したいんですけど、まず先ほど、天井に置か ないとか、あれですよこの緑の部分では、
1:00:37	1 マイクロシーベルトパーアワー以下のものを置くとかですね。

1:00:41	<p>そうそういうのは保安規定に書かれるというご説明だったと思うんですけど、このまずは、平面図で、どこにどこが廃棄物の保管場所になるかとか、</p>
1:00:54	<p>あと制限高は、オク種類ですね、1 マイクロとか 100 マイクロとか、それは両方とも資本保安規定に追加されるっていうことでよろしいですか。</p>
1:01:08	<p>中部電力荒牧でございます。</p>
1:01:11	<p>今考えてございますのは、現行の保安規定だったり、その傘下の手引きだであったりで管理しているところに追加するような形で、</p>
1:01:21	<p>管理できるように考えてございます。具体的には、保管区域につきましては、保安規定で、</p>
1:01:28	<p>ここの区域、平面図で、平面図の中のここの分、場所が保管区域として設定しますということで定めてございます。</p>
1:01:38	<p>保管の対象物の線量だったり、対象物につきましては、手引きの中で、</p>
1:01:44	<p>保管区域を設定する際に、</p>
1:01:47	<p>保管区域やそれ以外の他エリアも設定することで、廃棄物の混在を防止するであったりとかっていう観点で、管理してございますけれども、</p>
1:01:59	<p>その中で、こういったエリアとして設定する、そのエリアには、こういったものを保管するっていうことを、そのエリアを設定する際に、</p>
1:02:10	<p>手引き上で、</p>
1:02:12	<p>計画書を作って定めることになってございます。そちらで、今回も保管区域の中には、あと位置で1 マイクロのものをセ保管しますだったりとか100 マイクロで、</p>

1:02:24	保管しますっていうことを、を定めて運用しようかなというふうに考えて ございます。
1:02:30	規制庁のトガサキですあとそこら辺のあれですねた担当とかあと特にそ のL3のものしかオカないっていうことは、それはどこかに申請書上明記 されるんですか。補廃止措置か。
1:02:45	保安規定の申請書になると思うんですけど。
1:02:49	どちらかで明記されるんですか。
1:02:51	中部電力寺澤です。現行の保安規定の方に、その保管区域は、L3、
1:02:58	を置きますっていうふうに書いてございますので、そこは特に今回変更 をかけるってことは考え
1:03:04	なくてですね、もともと保管区域のLスパンをオク、
1:03:09	3しかを受けないって話しますかそういうような縛りがもう入っていると。
1:03:12	いうふうに考えてございます。
1:03:14	はい、わかりました。はい。ちょっとコア保安規定でどういうことを書かれ るかってのはその保安系の申請がないと議論できないんですけど、
1:03:26	いつごろ申請予定されてますか。
1:03:33	中部電力の寺澤です。一応今月の来週 19 日を今、今のところは申請 を予定してございます。はい。以上です。
1:03:44	はい、わかりました。で、ちょっと保安規定の規定の方については申請 後に確認させてもらいたいと思います。あとですね、先ほどいるIIのもの は、置かないとか

1:03:59	L3 に除アノしてから置きますって話があったんですけど、今回サブレーション・チェンバを解体進みますよね。この前の説明でも、
1:04:10	部分的にNⅡとL3 とクリアランスがあるって話があったと思うんですけど、
1:04:16	そのNⅡのものはどういうふうな扱いになるんですか。
1:04:27	そこのLⅡのものが、評価上、除染後L3 になるっていう評価をしてごさ いまして、
1:04:35	なので保管区域としてはL3 のものが置かれるというふうに考えてござ い。
1:04:41	規制庁のトガサキです。そうすると、もう今回のあれですか申請で、
1:04:47	サブチャンーは全部L3 以下になるというふうに理解してよろしいです か。
1:04:53	はい。その理解であってございます。中部電力寺澤です。
1:04:58	説明以上。
1:05:01	はい、わかりました。
1:05:03	等ですねその 10 ちょっと 12 ページのところ、
1:05:07	放射能duの容器、表の 4 のところなんですけど、容器 1 箱当たりの線 源強度の設定根拠を教えてください。
1:05:25	はい。中部電力荒牧です。
1:05:29	1 箱の線源共同の。
1:05:32	算出の仕方でございますけれども、他容器 1.6 各要求を想定して、
1:05:39	表面

1:05:41	から1メートルの距離で、
1:05:44	100mSv相当になる。コバルト宣言は、
1:05:50	どれくらいかというのをQADコードを用いて算出させていただきます。
1:05:55	その表面線量から中の放射エネルギーを想定しているという形で算出させていただきます。
1:06:04	規制庁のトガサキです。ちょっとその設定公共の説明を追加していただきたいのとあと、この1.6×1.6の容器、
1:06:17	を選んだ理由ですね。だからちょっとほかにもあるっていうお話でした米田
1:06:23	他のと比べてこっちの方が保守的なものかどうかですね。
1:06:28	という説明もお願いしたいと思うんですけど、いかがでしょうか。
1:06:34	はい。1000円の線源強度の設定根拠とあわせて、ご説明させていただければと思います。
1:06:44	規制庁のトガサキでそれと、
1:06:47	12ページの下の方では、この前提で、
1:06:53	放射エネルギーを評価すると。
1:06:57	あれですね。
1:07:00	保管庫、まずちょっと確認したいのは、
1:07:05	このエリアフロアありますよねフロアの容積を考えると、
1:07:12	このアノス保管容器の数量だけを受けるとのことなんですか。まず、そこをちょっと確認したいんですけど。

1:07:23	中部電力、荒牧でございます。保管容量に関しましては、保管区域を設定するところで、具体的に、
1:07:35	そのフロアの各部屋ごとにどれくらい置けるかという容量を算出して保管できることを確認してございます。こちらの箱数に関しましては、
1:07:46	評価上敷き詰める等どのくらいの箱数が受けるかというところで、そこから、全体の放射エネルギーを用いるために算出している量になります。
1:07:58	規制庁のトガサキですからこの補フロアのお湯容積に全面的にこの大きさのものを置いたとして、
1:08:09	数だけ置けるっていう関係になってるんですか。中部電力荒牧でございます。
1:08:16	フロアの床面積に対して、その容器 1.6 を敷き詰めた場合ということで算出してございます。はい、わかりました。規制庁のトガサキです。あとちょっと細かい話なんですけど
1:08:29	実は容器っていうのは、1、1 段積みなんですかそれとも、
1:08:32	何、何なんかに、
1:08:36	あれですか、積むんですか。
1:08:39	中部電力荒牧でございます。フロアの天井の高さを加味して 2 段に置く部分とサンダンでオク分を想定してございます。
1:08:51	規制庁のトガサキですその 2 段 3 段に積んだ状態での、
1:08:56	被ばく評価線量評価というのを行ってるんですか。
1:09:01	支部で猫アラマキでその通りでございます。

1:09:03	規制庁のトガサキです。ちょっとそういうことがわかるようにそこでも例示でいいんですけど、その図、図面ですね。
1:09:14	こういう2段3名を積んで、
1:09:17	ちょっと敷き詰めて、それで、
1:09:20	多分、天井の壁とかの遮へいとか考慮してるんですね、天井とか横の壁とかですね。
1:09:29	そこら辺をもし考慮してるんだったらそういうのがわかるように、概念図とかでもいいんですけど、それで、直接線とスカイシャイン線を評価してますっていうのを、
1:09:40	示していただきたいと思うんですけど、いかがでしょうか。
1:09:44	中部電力アラマキで承知いたしました。
1:09:48	はい、規制庁のトガサキです。
1:09:50	それと、保守性なんですけど、この放射エネルギーの観点で保守的だというのはこれでわかるんですけど、実際
1:10:00	壊されるものは、配管とか、タンク類のボリュームですね。
1:10:06	ボリュームと、ここの
1:10:10	運用キーの数、とかの関係というのはどうなんでしょうか。
1:10:34	中部電力荒牧でございます保守的に
1:10:37	例えば、
1:10:39	保管区域を設定する保管容量ですと、フロアや、容積に対して50%ということで、オク割合を

1:10:48	加味しております。壁とかっていうところを考慮した上で 50%を掛けた上で設定してございますこちらはそういったところは、エース計算上入れてございませんで、
1:11:01	フロアに対して箱を敷き詰めるということで箱数を出してございますので、実際の容量であったり、発生する保管、
1:11:10	の容器数に関しましては十分、この中に収まるということで考えてございます。
1:11:18	規制庁のトガサキです。すいませんもう一度 50%って何に対して、
1:11:24	50%見てるんですか。
1:11:29	中部電力荒牧です。そのフロアのフロアの容積に対して、例えば、壁だったりとか、そういったところも含めて包含した上で、
1:11:39	50%というふうな形で、評価上、置かしていただいております。規制庁のトガサキです。保管容量の、
1:11:49	保守性については、今のでわかったんですけど、その壊すものの量です。ねだからちょっと、当然建物の建屋の中に入ってるから、
1:12:00	そのボリュームっていうのは、その建屋のフロアの容積率の小さいんですけど、解体することによって、母子が増えると思うんですけどね箱の容積とかもあるので、
1:12:12	いや、壊したものが全部は入りきるかって話なんですけど、そこら辺の比較ってのはされてますか。
1:12:21	はい。中部電力荒牧でございます。保管容器 1.6 各容器の中に、金属、

1:12:29	充填率が 10%。こちらは他の評価でも 10%前後の値を使ってございませけれども、そういった形の充填率を用いて、
1:12:39	どれ、どれくらいの解体物の重量が保管できるかということは確認してございます。
1:12:46	この保管容器の発行に対して、収納できるトン数に対して、今回発生することを想定している回答書物の重量は十分
1:12:56	内数になるということで確認してございます。
1:13:01	はい、わかりました。ちょっとそのボリュームに対する保守性についても、
1:13:06	ちょっと触れていただきたいと思うんですけど、いかがでしょうか。
1:13:11	中部電力荒巻承知いたしました。
1:13:16	はい。私からは、
1:13:18	この 1 件目自体以上です。すいません。引き続きで言ってた規制庁のテラノちょっと字表の読み方かも。
1:13:26	確認したくて、申請書の、
1:13:28	にちょっと飛んでしまうんですけど、
1:13:30	今回の申請書の表の中の 2 のところの、
1:13:35	固体廃棄物の発生量の見方なんですけれども、
1:13:40	今回、
1:13:42	東大、結局第二段階でNFLで物が 30 トン増え増えます。
1:13:49	通信制になってて、この 30 トンは、結局L3、
1:13:54	2、

1:13:57	藤さんと先生いるさんで、トーエルさんのものとして補完するっていう。
1:14:01	読み方をするっていう理解なのか、そうじゃなくてL II のものはL II で補完する量がここに書いてあるっていう。
1:14:11	中部電力寺田でございます。こちらにつきましては、上の例えば第二段階でいうと、炉変更前が 610 が、
1:14:21	変更が 640 というところさ、30 の差分ということだと思うんですけど、こちら
1:14:26	除染前の数値になってございまして、こちらが除染後、下のL3 に落ちるというような関係性になってございまして。
1:14:37	はい。
1:14:39	金城テラノですありがとうございます。この数の中の例えば第二段階のところのN II 640 の鍵の下に約 130 っていうのを書いてあるんですが 130 は、
1:14:50	注意だけ見ると、媒体の女性 1 人分の物量を示すって書いてあって、
1:14:55	その都度、L3 フチセ 130640 のうちは、L3 なのか、プラスになるのかちょっとあれですけど、それで 130 になるっていう、
1:15:17	中部電力テラダ、こちら、括弧の除染後もL2 については、運転中廃棄物、
1:15:26	保管区域に置くものでは、
1:15:30	別の管理を、
1:15:36	樹脂ですとかそういったタンクにそもそも保管するというか、貯蔵するようなものが計上されてる。

1:15:43	はい。
1:15:44	そうすると、
1:15:47	今回、被ばく評価の中で収まるようなL3 だったりそれ以下のものの補償のレベルのものになって、なくなってそれを補完するっていう理解。
1:15:57	中部電力寺澤です。そのような理解であってございます。
1:16:05	規制庁の所です。今の流通の話なんですけど、
1:16:12	小令和、今回はあれですよねだ、第二段階で前倒しするか、サブチャン一とかも含めて、NLさんの保管場所を、
1:16:23	ここ、今回変えた変えるって話なんですけど。
1:16:27	今度 3 段階、今まさにあれですよね
1:16:32	容器にどうやって入れるかっていうのを検討していて、それで、それが 1 年ぐらいで検討期間がかかって、そのあと 3 段階の
1:16:42	変更されるっていうことだと思うんですけど、その時に確認すればいいと思うんですけど、そういう、3 段階の時には、ちゃんと 2 アノL2、
1:16:52	もう、どこに置くかとかですね、そうそういう牛アノちゃんと申請が出てくる。
1:16:59	んですかっていうことでおこ答えられない範囲で結構なんですけど。
1:17:06	中部電力の田村でございますはい。はい、おっしゃる通りです。今回ご説明させていただいた、L3 の置き場の中にも、第 3 段階の申請ではです、N2 っていうのは、この辺りに位置していて、
1:17:17	適切な被ばく。
1:17:19	そっちも取る。

1:17:21	ものでありますけれども、評価の中でもきちんとですね、このお示しできるようにする予定で進めております。
1:17:32	こっち会議室からは以上なんですけど福原さんとか宮嶋さんとか何か追加でありますか。
1:17:44	コミヤイトウフクハラですけれどもよろしいでしょうか。お願いします。
1:17:53	衛藤先ほどですね
1:17:56	トガサキの方から聞いた最後のところ最後というか
1:18:03	解体したものはすべて保管できますかというような質問をさせていただいたと思うんですけれども、
1:18:11	それに対して重量で評価してますよってという回答だったと思います。
1:18:16	で、体積、要はその箱に入る分には、体積も考慮しなきゃいけないと思うんですけれども、
1:18:26	その辺の評価はされてますかという確認を、
1:18:31	したいんです。なぜしたいかという、
1:18:36	相磯知能審査、審査基準にですね、解体物の解体する物の種類とか数量が適切に評価されてますかというようなことが、
1:18:49	書かれてあるので、結果については、例えばこのレベルのものが何トンぐらい出ますよという結果の表はたくさんあるんですけども、
1:19:01	どういうふうに評価したのかっていうのが、
1:19:04	なかなか見えてこないんで、そのあたり、
1:19:09	結果だけではなくって、どういうふうな評価をして、

1:19:14	このレベルのものがこれだけの量です、だから大丈夫なんですっていうようなところがわかるように、
1:19:21	今後示していただければ、
1:19:24	そういうふうな資料の変更をご検討いただければと思いますけれどもいかがでしょうか。
1:19:33	渋谷中部電力荒牧でございます。
1:19:38	出した、土佐通した設定の。
1:19:40	算出根拠。
1:19:42	そのようなところがわかるような形で資料を作らせていただければと思います。
1:19:52	規制庁、深田です 5 件テーマと思います。
1:19:58	阿藤。
1:19:59	ちょっと基本的なところになるんですけども、
1:20:03	話を聞いていてですねF、
1:20:06	L2 については除染をしてL3 にしますよっていう話が出たと思うんですけども、
1:20:13	除染はどのように行いますか。
1:20:28	中部電力の田村でございます。この除染の方法については、基本プラスと除染、
1:20:34	温泉を下げることで想定してございます。
1:20:44	規制庁福原ですけれどもすみませんちょっと聞き取れなかったんですが、フラストブラスト除染が水を吹きかけるということでしょうか。

1:20:56	中部電力の田村でございます。ブラスト除染という手法を用いる予定でございまして、プラス条線という金細かい金属のですね粒子を、
1:21:07	表面に機器の表面にぶつけることですね、削り落とすと、そういった手法でございます。
1:21:18	規制庁福原ですということは
1:21:22	その削り落とされたものは、また適切に処理されると、そういうことでしょうか。
1:21:31	中部電力田村でございます。はい、おっしゃる通りでございます。
1:21:35	使ったですね金属の粒子というところは、汚染された廃棄物という位置付けで管理して参ります。
1:21:48	はい
1:21:49	規制庁福原ですけども、除染をされた方というか、N2がL3になった方はいいんですけども、その代わりと言ったらあれですけども
1:22:02	結了とした金属粒子の方がどうなるかっていうのがちょっと気になったので、
1:22:07	具体的には、
1:22:10	固体廃棄物になるんですかそのちっちゃな金属粒子だと思うんですけども、まだちょっとイメージが湧かなくて、
1:22:20	中部電力の田村でございます。はい。おっしゃる通りです。固体廃棄物ということで位置付けて、管理することとしています。
1:22:30	他にもですね機器を切断する時に用いてますハーとか、そういったものもやっぱり工事に伴って発生する付随廃棄物として、

1:22:41	管理しておりますのでそういった、
1:22:44	ブラストの融資とかも同様に管理していく予定です。
1:22:51	はい、系統規制庁フクハラですということはセメントない明日IVと一緒に公開されてドラム詰めされる、そういう理解です。よろしいですか。
1:23:12	最終的にはですね他の解体廃棄物と同じ扱いで、
1:23:18	廃棄物として扱いますので、最終的な処理処分というところは、まだ、
1:23:24	申し上げることはできないんですけども、
1:23:27	解体廃棄物と同様、
1:23:30	ボックスに入れてですね。建屋の中で今保管しているという、そういったものですね。
1:23:35	今後も同じような感じで続けていく予定でございます。
1:23:44	規制庁福原ですけどもすいません、ちょっとくどくと。
1:23:49	ということは先ほど来出てきてる、1.6メートルの収納容器に入る。
1:23:58	とりあえずは入るってということですか。
1:24:09	中部電力林でございます。
1:24:12	除染の仕方によるんですけど、例えば女性もウェス等で吹いて落とすとか、
1:24:19	あと今ブラストといったような金属のツールを見つける。
1:24:23	削り方とかですねいろいろあるんですけども一番わかりやすいというイメージできるのは多分Sで吹く場合は、こういったものはもう普通の運転中でも出てくる。

1:24:33	いわゆる廃棄物になりますけどもこういったものは必ずしもドラム缶にそのまま入れるとかそういったことではなくて例えば、
1:24:43	可燃性燃やしてですねその灰をドラム缶入れたりといった処理も考えられます。そういった形でちょっと解体に伴って大きな金属の
1:24:54	物体の状態が出てくるというのをちょっと今想定はしていないもんですからちょっとそこは通常先ほど田村が言ったような普通の改訂物赤い普通の廃棄物の扱いと同様に実施をしていくということになるかと思えます。
1:25:14	はい、大木先生、ちょっとその辺りが見えなかったというか、要は、単純に考えて、NⅡ 図を除染しているんですがあった方がいいんですけども、
1:25:29	じゃあ、スズキの結果な金属粒子であったりとかウエスはどうなるのかなって。だから、それは、Lレベルでしょって話になるので、
1:25:39	何だろう。衛藤。
1:25:47	聞こえてますか何か音声変ですけど、大丈夫でしょうか。
1:25:52	あってるので、聞こえてます大丈夫です。
1:25:58	すみません衛藤。
1:25:59	要は、何だろう、資料に追記するかどうかっていうのをちょっとご検討いただければと思います必ず追求してくださいって話ではないので、
1:26:12	規制庁のトガサキですちょっと今の点でちょっと確認なんですけど、
1:26:17	今まで、今回サブチャンーを解体対象とするんで、サブチャンーの中には、

1:26:27	部分的にL2、
1:26:29	の部分もあるということなんですけど、先ほどのご説明だとそのA類の部分は、L3 に、除染してからってということなんですけど、
1:26:40	今までのこの 2 段階で、
1:26:43	D/Wヘッドとかも、確かあの対象になってたと思うんですけど、
1:26:49	L2 の部分を、L3 にして、除染したっていう、
1:26:54	事例ってのは今まであるんですか。
1:27:09	中部電力田村でございます。少々ちょっと確認させていただきたい。
1:27:14	ですけれども、ドライブHeadにつきましてはL3 除染前でL3 という評価。
1:27:19	でしたので、そのまま機械的切断をして、
1:27:23	ございます。
1:27:26	規制庁のトガサキで、もし今回、サブチャンーでL2 の部分をL3 にする、助成するってというのがもし初めてであれば、
1:27:37	そこはですねちゃんと確認する必要が、どうやって除染して、その廃棄物ですね、ってというのはどういうふうに扱われるのかってものを、
1:27:48	確認が必要だと思いますので、
1:27:51	だからこの資料に盛り込むか会合でちょっと質問するカーっていうのがあるとこあると思うんですけど、
1:27:59	確か会合であれですよ。サブチャンーのL2L3 クリアランスについて質問してますよね。そんな時に、

1:28:09	お答えいただいたんでそこは宿題になってないかもしれないんですけど そこら辺の補足説明として、ここの資料に補足入れてもらうっていうのは 一つあるんじゃないかと思います。
1:28:21	そこはちょっと検討いただければと思います。
1:28:24	規制庁のテラノです。今、おそらくもう第一段階で 610t だけ発生しますっ て、
1:28:33	取れて、今回その 30 だけ Hz がふやします。
1:28:37	で、おそらく、
1:28:40	じゃないかな。
1:28:42	すいません。
1:28:47	中部電力田村でございます。はい、承知しました。
1:28:49	補足説明資料の中で、そういったところがちょっと見えるように、
1:28:53	書き込めるちょっと検討させていただきます。
1:28:57	あとすいません水撃規制庁トガサキニイツアノついでにですね、それ一 部さっきの汚染の、あるタンク類っていうところなんですけど今申請書に は、
1:29:09	タンク類しか書いてなくて、概要説明では汚染のあるっていう書いたん ですけど、これ実際に、
1:29:18	汚染がある状態で、解体するんですかそれともちゃんと除染してから会 社解体するんですか。

1:29:25	だからL3以下の汚染なんで、もう汚染、そのままカー解体するっていうのであれば、やっぱりちゃんと汚染があるっていうのをちゃんと申請書に書いてもらう必要があると思うんですけど。
1:29:37	そこはだからもう汚染があるタンクなんですけど、ちゃんと除染してから、解体するのか、そのまま遊佐以下の汚染ということで、そのまま解体するのか。
1:29:49	その場合だからドアノ解体したものを飛散防止とかちゃんとやらないといけないですよ。
1:29:55	あそこにどうなのかっていうのをちょっともう少し、
1:29:58	わかりやすくしてもらいたいと思いますけどいかがでしょうか。
1:30:07	中部電力田村でございます。はい、承知しました。
1:30:10	L3と申しましても、やはり幅を持ってまして、実際には
1:30:15	やはり作業環境を考慮すると、除染してから作業した方がいいだろうというものもちろんございます。拭き取り除染とかですね、実施してから作業するものでございますし、
1:30:25	L3の中でもこの程度であればそのまま切断に入っていこうというものも実際ございます。
1:30:32	その辺のところ、少し文字にしてですね、見えるような形で記載させていただきたいと思います。
1:30:44	アノとは、規制庁トガサキですけどフクハラさんほかはありますか。
1:30:53	規制庁福原ですけども私からはありません。
1:30:58	はい。宮嶋さん、何かありますか。

1:31:02	規制庁宮嶋です。はい。ちょっと1点だけいいですか先ほどから
1:31:08	ちょっと関連する話でまず。先ほど
1:31:14	建屋にどのように保管するかってところでLⅡなのかっていうところを質問させていただいて、流れとしては、そのNⅡは除染をしてエヌスL3になりますよという説明でした。で、この
1:31:28	除染がどれだけきくかっていうのは、おそらく第一段階とかでやってる汚染状況調査、
1:31:34	でしたり、その除染の効果とかっていうところは評価されてるのかなと思うんですけども、それって資料のどこかについていたりしますか。
1:31:52	中部電力荒牧でございます。
1:31:55	具体的な詳細については、
1:32:00	資料の中にはございませんで、計画書上の物量のところで、先ほどのような形で、
1:32:09	記載させていただいてございまして、
1:32:13	表の中の2の、
1:32:15	上側、
1:32:17	各セルの上側が、助成前、
1:32:21	の、
1:32:22	物量、そして下側が、DF100ということ想定して、そこまで落ちたときの評価。
1:32:31	そして、記載してございます。

1:32:37	はい、規制庁宮嶋ですありがとうございます。先ほどの説明とショットピーニングで、表面削ってやりますよという話かなと思うんですけどもこれDF100で、
1:32:50	こんだけ減ります。
1:32:55	割と早目の段階で出てくるLⅡ廃棄物は概ね、
1:33:00	L3なり、結構量定L3なりますよって話はそこでもうDF役だからこうなりますっていう。
1:33:07	説明になってるってことですよね。
1:33:14	中部電力荒牧でございます。評価上そういった形の記載になってございます。
1:33:23	はい。規制庁宮嶋ですありがとうございます。っていうことは今後、段階踏んでいくにあたってえず、
1:33:32	ワー、それなりの量出てくるんですけどもそれも大体ピーニングショットピーニングでしたり化学除染とかって、
1:33:40	計画されていて、その化学除染、ショットピーニングどんな効くかによって最終的に出てくる廃棄物の絵と、
1:33:50	ランクごとの量というのは変わっていくのかなと思うんですけどもそれも、今の段階って何か何か評価されてますでしょうか。
1:34:02	中部電力荒牧でございます。特区実際に解体を進める。
1:34:08	際に、どういった状況であるかっていうところを見てどういった工法適用するかっていうことを見極めていくことに、
1:34:18	なると考えてございますので実際に

1:34:22	物量として、
1:34:23	どれくらい実際の解体工事で、どのレベルがどのようになるかっていうところは、
1:34:32	実際集計とか、いう形ではしてございませんで、評価上、あくまでDF1と理由 100 ということで、評価したものを、
1:34:41	計画書に記載させていただいております。
1:34:46	以上です。
1:34:48	規制庁宮嶋です。はい、理解しました。汚染状況調査を以前やられていて、その汚染状況で
1:34:59	概ねウランレベルごとにどれだけの廃棄物があるかってところは、概ねの目安がついてるのかなと思うんですけどそれを、
1:35:08	大本として、
1:35:10	今後、
1:35:11	計画を立案されるのかなと考えてますので、そういうところの関連性でしたり、
1:35:17	除染の方法の検討でしたりってところは段階進むにつれて、
1:35:23	説明していただければと思っております。
1:35:26	私からの質問は以上です。
1:35:34	すいません。では引き続きましてちょっとページがありまして資料の 2 の方の説明をお願いできればと思います。よろしく願いいたします。
1:35:45	はい。

1:35:46	中部電力寺澤が説明させていただきます。資料2の2ページ目をご覧ください。
1:35:52	こちら、ヒアリングにおける質問事項回答といたしまして、まず指摘事項ですが、熱的切断に対する火災防護対策について、進めすることというふうに、
1:36:04	認識しております。
1:36:06	回答といたしましては、2ページ目に書いてございます通り、
1:36:11	保安規定傘下の防火管理手引き、廃止措置というものが定められておりましたこの中で、
1:36:18	発電所敷地内等における防火管理及び対策を確実にするためにその細目というのが、こちらの手引きで定められてございます。
1:36:27	この手引きの中で、熱的切断は道路等の用的なある作業、例としてガス溶断ですかプラズマ切断というものに区分されてございまして、
1:36:37	これは最も火災のリスクがある火気作業に分類をされてございます。
1:36:42	この当該の手引きにて、各作業区分と火気作業区分に応じた防火措置というのを要求してございまして、こちら廃止措置で今後熱的切断を拡張するにあたってはこちらの防火管理手引きに基づいて、防火措置をしていくこととなります。
	(以下火災防護関係は非公開資料につき削除)
1:39:18	何か規制庁から質問等、確認したい事項ございますでしょうか。
1:39:31	規制上のフクハラからはありません。

1:39:36	宮島からも、この火災防護対策についての説明はされているのかなと思うので、
1:39:43	質問ありません。
1:39:47	規制庁のテラノですけど。
1:39:49	ちょっとすみません資料読み込みでなくて恐縮なんですけど、今、この廃止措置の計画上は、この火災対策に対しての記載はどのぐらいの深さまで、今、
1:40:03	記載がありますでしょうか。
1:40:11	中部電力の寺沢です。
1:40:15	今の時点でも、
1:40:19	熱的切断については、クリアランス相当のものには、
1:40:24	適用、場合によっては適用でき、機械的切断が困難な場合は適用しますということで書いてございますので、今の時点でも、この防火、
1:40:34	管理手引きに従って防火措置をするということは、
1:40:38	特に変わりがない。
1:40:40	という、
1:40:41	形になってございます。今回、
1:40:43	その対象を拡張するにあたって、
1:40:46	この基本的なこの防火管理手引きにしたがってやっていくということも、 に変わりはないと。
1:40:52	考えてます。
1:40:54	計画書で言いますと、各解体撤去の工事方法の中で、

1:41:01	安全加工対策っていうもの、
1:41:04	それぞれ書いてございましてそういったところで、必要に応じて火災防止対策等をしてきますよといったようなことを、
1:41:13	例えば記載をしてございます。具体的なこういった効果管理的で、措置をしていくと。
1:41:20	いうことでございます。
1:41:22	説明以上になります。
1:41:24	規制庁のトガサキ今野店で、
1:41:28	今のその申請症状は、5号の、
1:42:04	指針斉唱ですね。
1:42:27	東さんが必要に応じて防災シートの使用等による防火対策。
1:42:33	火災防止対策、
1:42:37	ここで読むんですかね。
1:42:41	そうしましたら、ちょっと資料2の説明だけだと、
1:42:48	これを具体的にどういう対策とってるかわからないんで、まず、まず申請書にどういうことを書いてあるかっていうことを、ここに書いていただいて、
1:42:59	具体的には保安規定傘下の防火管理手引き、
1:43:06	細目を定めてますんで、そのあと2個のですね、
1:43:11	この文章だけだとうちよとどういふ対策なのかっていうのが、
1:43:15	わからないんでしょで特にあのシート、再防火Cシートでしたっけ。
1:43:21	造園シートとかで何かやられるっていう。

1:43:25	等々がついてますカネボウ円シートの使用等によるってところの具体的な説明。
1:43:32	ちょっと説明できる範囲で、
1:43:36	ここの図のですね、
1:43:41	そっちはちゃんと受けがあるとかですね。
1:43:44	今後おかしいとか、ちゃんと周囲に配置されるとかですね。
1:43:48	そういうキーワードを、
1:44:07	具体的にこの文章だけではわからないので、
1:44:10	そこの説明がわかるようにしていただきたいと思うんですけど、いかがでしょうか。
1:44:19	中部電力寺澤です。承知いたしました。
1:44:29	あと規制庁のトガサキです
1:44:33	事項のその評価との関係なんですけど事故では、
1:44:38	爆発とかを、今回新たに追加してるんですけど、
1:44:46	このさ、あれですね作業等、この事故の関係ってのはどうどういうふう に、
1:44:53	関係してくるんですか。
1:44:59	規制庁のトガサキですから、ガス、ガス用何とかだとあれですかがガス がでて、それが爆発するっていう、プラズマでもそういうのってあるん ですか。
1:45:10	爆発っていうのは、
1:45:19	中部電力田村でございます。今回、

1:45:22	欠席切断を用いる手法は、おっしゃる通りやっぱプラズマだったりガスというところあるんですけども、今回、
1:45:28	事故評価のところ、爆発っていうと考慮しているのは、カナダの用いるガスですね、アセチレンだったり酸素だったりそういったところを
1:45:36	使うってところが、大きく機械と熱できる。
1:45:40	そこで変わりますので、今回
1:45:43	想定する事故事象の中に含めました。
1:45:47	規制庁のトガサキです
1:45:50	熱的切断は、そういう、
1:46:45	わかりましたこのガス溶断とかプラズマ切断とか、
1:46:50	レーザーとかも考えてるんですか。
1:46:53	ここに書いてあるのはみんなあかん考えてるんですか。
1:47:00	ちょっとすいません。
1:47:02	エリアというところと切断する。
1:47:05	作業。
1:47:07	請負業者さんの方で
1:47:09	得意なところっていうところがあるので、どれを選択するかっていうところは、すいません、ケースバイケースなんですけれども。
1:47:15	一般的に溶断というところで考えられるものたちがここには記載させていただいてるっていう
1:47:22	わかりました多分この

1:47:25	結局、規制庁のトガサキですけどこういう溶断をするとなんか立たれてくるから、そこをちゃんとそこで受けられるようにするのと、あと何か
1:47:36	燃えたときに、その火災が広がらないように、耐火シートで覆うという、
1:47:41	のが書かれてると思うんですけど、火災防止対策としてはそれぞれ。
1:47:46	でいいと思うんですけど爆発との関係。
1:47:49	爆発との関係っていうのは、
1:47:52	特に何か対策ってのはないんですか。菌田ガスが凍ってるアノ漏れたときの、
1:47:58	多分こういう対策の、
1:48:01	基準みたいのはないんですか。
1:48:15	中部電力の田村でございます。もちろんですね、国債に対する洋上って いうところは、
1:48:21	このよう上手
1:48:23	の方でお示しさせていただいておりますけれども、ガスを使うというこ ろは
1:48:29	火気作業のエリアが密閉ならないようにですね、
1:48:32	廃棄局はい。
1:48:34	装置を設けるとかですねそういったところは、もちろん実施してありま す。
1:48:41	規制庁のところで何かそういうガス爆発防止対策の基準というのはない んですかね。

1:48:54	要はここが規制庁の河崎磯野葛西の発生防止、発生防止の観点での説明になるんですけど、結局自己評価では、
1:49:05	笠田イイダだけではなくて爆発も評価してるんで、
1:49:11	それこの前もちょっと意見審査会合で議論なったと思うんですけど、確かこの前の説明ではそのフィルターこういう
1:49:21	切断をして、その切断をし、した部分の放射能が、MACCSフィルターニイツアノ溜まってる状態のときに、
1:49:35	爆発があったらどうするのかっていう評価なので、何ですか飛散率とかは、通常時のものと、事故時も同じですっていうのは回答だったとも思うんですけど。
1:49:48	そうするとだから、もう、
1:49:52	そういうフィルターに詰まった状態で爆発するっていうことですよ。
1:49:58	だからちょっと爆破通のところとの関係ですねその下、火災防止と、爆発との関係がちょっと結びついてなかったんで、
1:50:10	要はその何か、
1:50:12	とかしてるときに、その火事があったら、そうしたらそれで飛散するじゃないですか。そういう飛散率は使わなくてもいいんですかっていう。
1:50:21	観点での質問だったんですけど、その措置ではなくてもう
1:50:26	何、MACCSフィルターに詰まった状態で爆発するんで、そちらの評価をしてますっていうことでこの前は、
1:50:34	特にそれ以上の所、公明党しなかったんですけど、

1:50:39	ちょっと、ただしっかり火災の恐れがある作業とガス爆発の関係がちょっとじっくりなくてですね。
1:50:48	あそこは今の話だと、ガスイオンの時にガス会社が充満して、それで爆発するってということだと思っんで、そうするとじゃあ今度ガス爆発防止対策、
1:51:01	それについては、ちゃんと、
1:51:03	考えられてるのかっていうのがちょっと疑問になりますので、
1:51:09	そそこもう何か基準とかがあるんであればちょっと説明をしていただきたいと思っんですけど、いかがでしょうか。
1:51:23	はい。中部電力田村でございます。
1:51:27	はい。
1:51:29	爆発、かき作業に伴う安全加工。
1:51:33	対策ですか。ここのところは、廃止措置計画からですね、
1:51:39	もう具体的にこういうところまで社内手引きで、
1:51:42	し、実施しているってところを見るようにさせていただきます。
1:51:45	例えば、ちょっと手引きの方を少し見てたんですけども
1:51:50	例えば、はい。爆発対策として、
1:51:52	ガス検知を行わなければならないとか、
1:51:56	そういった措置
1:51:57	でございますので、そういうところも決めるように、
1:52:03	以上です。私からは以上です。

1:52:12	規制庁クロズミです。ウェブで参加されてる福原さん何かコメント等ございますでしょうか。
1:52:21	福原ですけれども、今日いただいた、
1:52:27	資料以外のところで、
1:52:30	確認したい簡単なところで2点確認をさせてください。よろしいでしょうか。
1:52:38	まず1点目ちょっと資料は多分皆さんお手元がないので、口頭で簡単なところ2点です。今回の申請で、性能維持施設から除外しているものがあって、
1:52:51	具体的に言うと、
1:52:54	機器搬入コウノ遮へいプラグというのを、
1:52:58	性能維持施設から除外をしております。で、私でちょっと聞いたかもしれないんですけども、この遮へいプラグというのはどういったものですか。
1:53:15	中部電力の田村でございます。
1:53:18	格納容器キーの脇に、
1:53:22	今つけております。
1:53:24	兵庫と本文の方で記載しております
1:53:29	アノ社格納容器の遮へい機器と同義でございます。
1:53:35	そうですね。
1:53:36	格納容器の、
1:53:42	格納用キーのですね規制は、
1:53:50	どうぞ、お願いします中部電力の田村でございます。

1:53:55	格納用キーアノフロアプラス 5 か形でございますけれども、その側面に、
1:54:01	ついております。
1:54:03	目的はやはり機器をですね、
1:54:06	格納容器の中の機器の点検、或いは建設時に、大きな、
1:54:12	例えば再循環ポンプとか、
1:54:14	大きなバルブがあるんですけれどもそういったものを搬出するときに使う移動式ですね、蓋のようになっている。
1:54:24	PLUGのPLUGとここでは呼んでますけれども、そのコンクリートの、
1:54:28	可動式の
1:54:30	Hatch或いはPLUGは減って、
1:54:34	ございます。で、これが、
1:54:37	廃止措置に入った段階以降ですね、格納容器の中の解体も一部行っておりますけれども、
1:54:44	もうずっとですねPLUGはもう開放状態でずっと維持してございます。
1:54:49	ですので、
1:54:50	被ばく評価という観点でも、
1:54:54	もう解体しても影響がございませんので、ここについては、
1:54:59	開催をいたしますと、
1:55:00	性能維持施設として、
1:55:03	格納容器。

1:55:06	野間一部として入ってますのでですね、ここも改定に伴って線路移設から除外させていただくと、そういったものでございます。
1:55:17	規制庁福原です。わかりました遮へいプラグ以降ですね駅、可動式の車へ行き
1:55:28	確かプレス向けのA3の紙に写真だったかと思うんですけども、おっきな移動式の壁で壁ですよ。あれでも、
1:55:38	あれを遮へいプラグと呼んでるそういう理解でよろしいでしょうか。
1:55:44	中部電力の田村でございます。はい。その通りでございます。
1:55:52	規制庁フクハラですわかりました後、五味さん簡単なところで、一般論と いうか、えっとですね、
1:56:01	放射能レベル、
1:56:04	あと放射性廃棄物の、ごめんなさい、放射性廃棄物の発生量の見積もり方なんですけども、いろんな表があって何トンぐらいヘルツが何トン、L3が何トンとかっていう表があるかと思うんですけども、
1:56:19	その発生量はどのように見積もっていますか。
1:56:30	中部電力荒牧でございます。発生量は、汚染状況調査の結果、
1:56:37	と、あとは、廃止措置の対象機器を洗い出して、そのキッキに対して、
1:56:46	どれくらいの汚染レベル。
1:56:48	があるかっていうのは調査して、その調査結果から、展開させて、
1:56:55	それぞれの機器に対してこれくらいの汚染状況だろうというところを、
1:57:00	割り当てて、それを集計したものとして、表の
1:57:05	中であったりとか、さて、

1:57:08	この5章のところで、結果としてまとめて記載してございます。
1:57:15	以上です。
1:57:19	規制とフクハラですけれどもその放射能レベルの話は、汚染状況調査をしますよということで、
1:57:28	イメージが理解はできますけれども、その
1:57:33	何トンですよとか例えばLL通が何百トンですよNさんが何千トンですよってというのは、それは何か、例えば、建設時の資料であったりとかメーカー作成も、
1:57:46	仕様書なりで重量なり、
1:57:49	そこに書いてある重量から見積もってるそういう理解でよろしいでしょうか。
1:57:57	中部電力荒牧でございます。
1:58:01	当時汚染状況調査をして、評価をする際に、図面でしたり、そういったところから、トン数をこう計算して、各機器ごとの配管ごとに、
1:58:12	これだけのトン数で、
1:58:14	それに対して、汚染状況調査の結果で、こういった汚染状況のだろうってところを、それぞれ集計しているっていう形になってございます。
1:58:30	規制庁福原です。わかりました分そうだろうなと思ってたんですけども、もしよろしければですね先ほどその図面から見積もってますよって言うことだったので、

1:58:42	そのことがわかるように、どっかに追記いただくことをご検討いただければと思います。というのはちょっと審査基準にどれぐらいの量があってどれぐらいの線レベルかっていうのが適切に評価されて、
1:58:56	るよねっていうことを確認するっていうことになってるので、
1:59:00	はい。ご検討いただければと思います。
1:59:05	中部電力荒牧です検討させていただきます。
1:59:12	規制庁フクハラからは以上です。
1:59:16	ありがとうございます。
1:59:17	直接クロズミです。宮嶋様から何かございますでしょうか。
1:59:21	はい。
1:59:24	私からは今言いたいことと確認したいことは伝えられたかなと思いますんで大丈夫です。
1:59:32	ありがとうございます。最後に中部電力さんから何かコメント等ございますでしょうか。
1:59:43	中部電力田村でございます。
1:59:45	弊社からございません。
1:59:49	はい、ありがとうございます。ではこれもちまして本日ヒアリング終了させていただきます。ありがとうございました。

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	はい、それでは原子炉規制庁のクロズミですただいまより、中部電力浜岡発電所 1 号機 2 号機、
0:00:07	廃止措置計画変更申請についてのヒアリングを開始いたします。中部電力さんご説明お願いいたします。
0:00:17	中部電力荒牧。
0:00:20	中電力アラマキが説明させていただきます。
0:00:24	審査会合における質問事項の回答と、
0:00:27	ヒアリングにおける質問事項の回答ということで、資料 1 と 2 を準備させていただいております。
0:00:34	資料 1 につきましては審査会合における指摘事項の回答資料につきましては、ヒアリングにおける指摘事項の回答ということで、順に説明をさせていただければと思っています。
0:00:48	それではまず審査会合における指摘事項の回答ということで、資料 1-1 をご覧ください。
0:00:56	資料 1-1 の 2 ページになります。
0:01:00	こちらが審査会合の際に、
0:01:04	いただいている指摘事項になります。大きく 1 と 2 に分けてございます。
0:01:11	一つ目、添付資料の 3 の中の熱的切断、
0:01:16	の対象に、この拡張に伴う、
0:01:22	解体工事に伴い発生する粒子状放射性物質の環境への、
0:01:27	放出量評価等の妥当性について説明することという、
0:01:31	二つ目。
0:01:32	が、保管区域の変更に伴う直接線スカイシャイン線の洗浄評価等の妥当性について、
0:01:39	ご説明させていただければと思っています。
0:01:46	少しまた、
0:01:48	それでは資料 2、1-2 でご説明させていただきます。
0:01:53	資料 1-2 につきましては審査会合の際に、補足説明資料として出させていただいたものに、
0:02:01	今回の指摘事項を反映させたもの。
0:02:05	の資料となっております。
0:02:08	今回いただいている書式事項のまず一つ目。
0:02:12	になります。資料 1-2 の 4 ページ。
0:02:15	なります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:19	熱的切断の対象。
0:02:21	について、
0:02:24	の説明の部分になります。
0:02:27	再熱的切断はどういうものを対象にしているかというところを具体的に記載させていただいております。
0:02:34	熱的熱的切断の対象は、第二段階対象設備のうち、機械的切断では困難非効率となる部位、
0:02:42	括弧タンク類、
0:02:44	大口徑配管等の大型機器を対象に採用するというので、挨拶計画に書かせていただいて、申請させていただいております。
0:02:53	具体的には、
0:02:55	下の三つのポツ、
0:02:57	で、列挙させていただいている通りの対象機器と、
0:03:02	と考えています。
0:03:04	タンク類としましては、札幌サプレッション・チェンバ復水タンク、
0:03:10	大口徑配管につきましては主蒸気系配管や、
0:03:14	旧復水系配管。
0:03:16	その他大型機器につきましては、
0:03:18	余熱除去系のポンプや、
0:03:21	紙蒸気隔離弁、
0:03:23	そういったものを対象として適切ダノ対象を選定しております。
0:03:28	こちらが、熱的切断対象の具体で、
0:03:32	とあります。
0:03:35	続きまして5ページになります。
0:03:37	こちらからが、被ばく評価の説明になります。
0:03:42	先ほどの4ページで対象として選定したものに対して、
0:03:46	評価を行っております。また、
0:03:49	機械的切断に、
0:03:51	分類したものに対しても、評価をそれぞれ行っております。
0:03:57	評価方法としましては、5ページの真ん中にございます表の3-3の通り、パラメータを設定して評価をしております。こちらを具体的に説明させていただければと思っております。
0:04:12	これまでも機械的切断において、2種類の条件を設定して評価をして、
0:04:20	ございます。
0:04:21	こちらは衛藤。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:24	現実的条件と保守的条件ということで理解させていただいて、ご説明させていただければと思っております。
0:04:32	現実的条件と分析条件それぞれで、
0:04:35	機械、切断時の、
0:04:38	欠損の積率、欠損面積率、
0:04:43	と。
0:04:43	汚染拡大防止囲いフィルターの有無。
0:04:46	の、
0:04:47	パラメータをそれぞれ設定して、
0:04:53	環境への放出量の評価をまず行ってございます。
0:04:57	表 3-3 に、
0:05:00	メッセ。
0:05:01	ございます通りで、江藤破線の、
0:05:04	青の四角のところが現実的条件ということで、
0:05:09	決算率であったり、汚染拡大防止ヒーターありということで設定してございます。
0:05:15	隣の、
0:05:17	青い四角、
0:05:19	で囲ってございます。
0:05:21	ところが、保守的条件ということで、
0:05:23	欠損率についてはもう少し大きく、
0:05:27	汚染拡大防止フィルターにつきましてはないということで、星側で、
0:05:32	評価するという条件を設定してございます
0:05:37	それぞれ、
0:05:38	具体的に今回やってき切断を、
0:05:42	追加して、対象を拡張したということで、
0:05:48	新たに設定したパラメーターについて、
0:05:51	その下の①から③で具体的にご説明させていただきます。
0:05:56	まず決算容積率と決裁面積率です。
0:06:00	こちらは、熱的切断を想定して、
0:06:03	機械的切断、
0:06:05	同じような形での欠損幅ということを設定適用しております。
0:06:10	車線拡大防止入れた。
0:06:12	の捕集効率を考慮する場合、現実的条件と、
0:06:17	考慮しない場合の保守的条件でそれぞれ設定してございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:22	次のページが、設定の内容となります。
0:06:26	ページの上段に図と表で示させていただいております。
0:06:31	現実的条件につきましては、
0:06:34	切断をする、切断編が、
0:06:37	100 センチか。
0:06:39	1001100 センチを想定し、
0:06:43	保守的条件につきましては、
0:06:46	小さく切断する、40 センチ 40 センチの切断品を想定してございます。
0:06:52	今回の熱的切断の追加に関しましては、欠損、切断長につきましては同じ機械的切断と同じ条件、
0:07:01	欠損半分につきましては、
0:07:04	ハンドブック、
0:07:06	ハラ、
0:07:07	設定して、
0:07:09	切断幅を設定してございます。
0:07:13	結論面積率については切断長と切断幅の
0:07:19	ハラ算出してございまして、表の通りの値を適用して、
0:07:26	評価を、
0:07:27	行ってございます。
0:07:31	続いて、②になります。
0:07:33	こちらが、
0:07:34	放射性物質、放射性核種の配置中履行率になります。
0:07:39	はい。10 移行率ですけれども、
0:07:41	こちらは、
0:07:43	ページ、
0:07:44	5 ページに戻っていただきまして、表の 3-3 の※1 に記載してございませ す通り、
0:07:52	すいません次が、
0:07:54	けれども、こちらの出し方としては、先ほどの、
0:07:58	決算容積率、またはフィッション面積率にゆ融資期間率を掛けたもの を、海中移行率としてございます。
0:08:07	その理由市場、
0:08:09	粒子の飛散率につきましては、
0:08:12	ハンドブックから、
0:08:15	設定してございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:16	パターン保守的に評価を行うために、
0:08:19	適切団による飛散率につきまして、トリチウムとカーボンについては、全量バス状の放射性物質となることを想定して、
0:08:28	イデをしてございます。
0:08:32	ページの③になります。
0:08:35	フィルターの捕集効率についてです。
0:08:37	こちらも同様に、保守的にな評価を行うために、熱的切断、
0:08:43	夜、
0:08:45	発生、フィルターの捕集効率の、
0:08:47	方に関しましては、トリチウムもカーボンについても、全量ガス状の放射性物となることとし、
0:08:54	汚染拡大防止フィルター及び建屋フィルターでの捕集効率をゼロ。
0:08:59	とした上で評価を行ってございます。
0:09:03	こちらのパラメーターを用いて、
0:09:06	環境への放出量と線量の評価を行ってございます。
0:09:12	こちらの、
0:09:13	計算結果が、添付資料の 2 から 13 に、
0:09:17	してございます。
0:09:22	少し、生データを、
0:09:24	を持ってきているので、複雑な表になってしまっているかと思いますが、
0:09:31	ご説明をさせていただければと思います。資料の構成としましては、
0:09:37	添付資料 2 から、
0:09:40	10 の中で、
0:09:42	まず、1 号機の現実的条件を用いた機械切断による被ばく評価。
0:09:49	1 号機の現実的条件を用いたんです。
0:09:53	面における被ばく評価。
0:09:55	そしてその次に、
0:09:57	その合計の評価。
0:09:59	という形で、続いて、1 号の保守的な条件 2 号の現実的な条件、2 号の保守的な条件というふうで、
0:10:10	資料を、
0:10:11	作らせていただいております。
0:10:14	その中で、
0:10:18	たくさんございますので、今現状、計画書上に記載しているもので、評価に用い、最終的な評価として、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:28	用いているものが保守的条件から、設定してございますので、保守的条件で1号機の保守的条件のところでご説明させていただければと思って、
0:10:38	言います。
0:10:41	1号機の保守的条件。
0:10:44	ありまして添付資料の6。
0:10:47	なります。
0:10:50	こちらの表ですが、構成としまして、
0:10:53	左側に、
0:10:59	すみません、添付資料5から説明させていただければと思います。まず、機械的、1号機、保守的条件を用いた機械的切断における被ばく評価になります。
0:11:10	こちらの表の構成になります。
0:11:13	左側の表が、
0:11:15	機械的切断、
0:11:17	そして、
0:11:18	選定した対象の設備中の、
0:11:23	放射性核種の存在量を、
0:11:25	評価対象の55核種。
0:11:28	について記載してございます。
0:11:31	こちらから、次の右側の表で、
0:11:36	気体廃棄物の放出量を計算して、
0:11:39	年間の
0:11:41	それぞれの核種に対する年間放出量を求めてございます。
0:11:46	その年間放出量から、五つの、
0:11:50	被ばく経路ごとに、
0:11:52	どういった線量になるかということ、
0:11:55	計算した結果が、その右側にございます。
0:12:01	真ん中より少し右の合計というところで、
0:12:04	五つの被ばく経路。
0:12:07	ハラ。
0:12:08	の種目評価結果の合計値を示してございます。
0:12:12	今回被ばく評価に関しましては、90%以上の核種。
0:12:17	あと被ばく経路ごとに90%以上、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:21	占める核種について、表、最終的に評価としてまとめてございますので、一番右の市長に、
0:12:30	表で、1000、各被ばく経路と、
0:12:35	核種に対する線量、そして、そのそれぞれの被ばく経路、
0:12:40	の中での、
0:12:42	線量の、
0:12:44	寄与率占める割合を、
0:12:46	示した表になってございます。
0:12:50	表の黄色でハッチングしてある部分につきましては、
0:12:54	各被ばく経路、
0:12:56	の中で、
0:12:57	90%以上を占める核種で、
0:13:00	かつ最終的な評価として、評価核種として、
0:13:06	選定したものをハッチングしてございます。
0:13:10	表の構成につきましては、このような形で、
0:13:13	解体対象物の存在量から、年間の放出量を算出して、各被ばく経路ごとに線量を出して、
0:13:21	その割合を確認して、90%以上の核種が、
0:13:26	どの核種でこういった割合で含まれているか、こういった線量になるかということ、
0:13:32	それぞれの条件に対して、
0:13:34	してください。
0:13:38	添付資料 6 につきましては、
0:13:41	1 号機の保守的条件を用いた熱的切断における被ばく評価。
0:13:47	なります。
0:13:48	こちら構成としましては同じ構成になってございます。
0:13:52	一番左の表で、
0:13:54	今回熱的切断の対象として選定した設備の中に含まれている。
0:14:00	放射性核種の存在量を示してございます。
0:14:04	それを用いて、先ほどと同様に、
0:14:07	時代の
0:14:09	廃棄物の放出量、そして、各被ばく経路の被ばく線量を出してございます。
0:14:18	添付資料の 5 と 6 の、
0:14:20	合計を、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:22	示したものが、添付資料の 7 になります。
0:14:26	こちらは、添付資料 5 で、機械的切断対象として被ばく評価をしたものと、
0:14:32	添付資料 6 で持ってきて切断対象として被ばくしたものの。
0:14:37	線量評価の合計に、
0:14:41	こちらは、
0:14:43	各被ばく経路の 90、
0:14:46	%以上の核種の
0:14:49	合計値を確認しております、
0:14:52	こちらを計画書に、
0:14:53	最初でございます。
0:14:59	今の添付資料 7 の、
0:15:01	集約をしたものが、
0:15:04	少し前に戻りますが、補足説明資料の 8 ページ。
0:15:11	表 1 の各被ばく経路における被ばく 90%以上を占める核種としてまとめて、
0:15:19	してございます。
0:15:23	この合計値の、最終的な実効線量の 3. 約 3.3 表の、
0:15:29	右の下の、
0:15:31	ところになりますけれども、こちらが、
0:15:33	1 号機の
0:15:35	実効線量の合計の評価ということで、
0:15:39	こちらも計画書に記載してございます。
0:15:42	評価の中身としましては、このような形で、それぞれ液解析切断の対象物の評価、
0:15:50	対象、
0:15:52	それぞれの評価条件で行う。
0:15:54	した後に、合計値を、
0:15:57	集計して、
0:15:59	計画書に記載するという形で、
0:16:02	評価をしてございます。
0:16:19	続きまして、
0:16:21	質問、ご質問、ご指摘いただいて、
0:16:24	している。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:28	ナンバー2 になります。本区域の変更に伴う直接線スカイシャイン線の線量評価等のなさ妥当性について、
0:16:36	こちら資料 1 で、2、1-2 でご説明させていただきます。
0:16:42	こちらは、
0:16:43	11 ページ。
0:16:45	から、2、
0:16:48	スカイシャイン、直接線スカイシャイン線の評価ということで、保管区域、
0:16:53	補完するものに対して、
0:16:57	それが評価として妥当かというところを、
0:17:04	保管条件としましては、
0:17:07	対象物として、今回申請した解体対象物を加えた、第二段階対象設備のL3 廃棄物を想定してございます。
0:17:16	こちらの総放射エネルギーは合計で約 2.3×10^{-12} 条ベベルとなっております。
0:17:24	今回のスカイシャインの評価においては、
0:17:26	追加した保管予定区域を包含するように、
0:17:30	保守的になるように各フロア前面にL3 廃棄物を収納した保管容器を保管することを想定して、
0:17:39	その後段にあります、との破綻条件を用いて評価を行ってございます。
0:17:46	まず、L3 廃棄物の保管状態と保管容器の診療について
0:17:52	ところでございます。
0:17:53	各フロアの前面にL3 廃棄物を保管する状態を、
0:17:58	以前する建屋及びタービン建屋の構造を模式方式的に扱って評価を行ってございます。
0:18:04	ただし、
0:18:05	評価をする中でCAQ建屋の最上階は、周辺公衆の被ばく線量への寄与が大きいということで、そういったことを考慮して、L3 廃棄物を保管することを想定しないということで、
0:18:18	条件を設定させていただいてございます。
0:18:22	下の絵がイメージ図になりまして、
0:18:25	最上階の原子炉建屋の真ん中部分ですと 5 階、タービン建屋リスト三階といったところで、一番上の、
0:18:33	サイン相当する部分。
0:18:35	つきましては、
0:18:37	L3 の廃棄物を保管しないということで考えてございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:41	また、
0:18:44	各建屋の最上階の直下部。
0:18:46	につきましても、被ばく線量の寄与を考慮して、
0:18:51	保管容器の表面から 1メートルの線量当量率、
0:18:55	1mSvパーは、
0:18:59	あまりのものを保管することね。
0:19:01	ございます。
0:19:02	こちらは、可能な測定下限の目安値ということで、こちらを設定させていただき、
0:19:08	ございます。
0:19:10	こちらが、図の中の緑の斜めの線で示した部分ね。
0:19:15	それ以外の部分につきましては、
0:19:18	保管容器の表面から、
0:19:20	1メートルの距離での線量当量率が、
0:19:24	100mSvパーアワーまでのものを保管することを想定してございます。
0:19:29	こちらの 100mSvというのは、発電所内の運搬時の制限値、
0:19:34	なりまして、こちらを適用させていただいて、
0:19:38	指定をさせていただいてございます。
0:19:42	続いて宣言の条件になります。
0:19:46	保管容器、
0:19:47	ページ 12 ページの(イ)。
0:19:51	すぐに、
0:19:54	線源条件につきましては、汎用機を、
0:19:57	1000 億の容器を想定して、
0:20:01	で用いた保管容器の表面から 1メートルでの、
0:20:05	線量当量率に対する線源強度を、
0:20:12	えーと、
0:20:13	でございます。
0:20:15	表の部分に示す通り、100mSvで、
0:20:20	下あたりの線源強度が、コバルト想定で 2.46 の中の苦情、
0:20:28	1mSvパーアノ。
0:20:31	ここにつきましては、
0:20:33	1箱当たり 2.4620-7 乗。
0:20:37	てくれるという線強度を、
0:20:40	について、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:42	各フロア、
0:20:44	設定。
0:20:46	また、保管する各フロアの面積から割り出される保管容器の数量を用いて、評価上のL3の、
0:20:53	放射エネルギーを、
0:20:55	でございます。
0:21:01	その結果、表の課題になりますけれども、評価に用いたL3の廃棄物の総放射エネルギーは約1.2直で次の14条出ている。やはり、
0:21:11	前述した二段階対象設備のL3廃棄物の総放射エネルギー約 2.3×10^{20} 日に比べて、
0:21:19	自分、
0:21:20	保守的な評価であるということを確認してございます
0:21:25	こちらを、
0:21:26	評価条件として設定して、
0:21:30	Pページ13ページの、
0:21:32	(2)の評価コード。
0:21:36	線源についてはKDのコードを用いて、
0:21:39	スカイシャイン線については爺さん工場を用いて評価した結果、
0:21:44	被ばく評価、
0:21:47	に対して、これまでと変わらないということでしょうか。
0:21:52	そして、
0:21:54	安全性を確認してございます。
0:21:57	以上が、
0:21:59	直接線スカイシャイン線の線量評価等の妥当性についてというところでご説明させていただき、
0:22:10	続きまして、ヒアリングいただいている質問、
0:22:15	指摘事項の回答ということで資料2、
0:22:18	でご説明させていただきます。
0:22:22	中部電力のテラサワが、資料2についてご説明させていただきます。
0:22:27	指摘事項としましては、熱的切断に対する火災防護対策について説明することと認識をしてございまして、
0:22:37	こちら資料2のスライド2ページ目をご覧ください。衛藤海藤。
0:22:54	宮澤さんすみません該当の資料2ってどこかに共有とか、格納とかされてますかね。
0:23:03	資料1-1、2-1、いつも2の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:08	二つ。
0:23:09	タップだと思うんですけども、
0:23:12	ちょっと待って、資料 1-1 と 1-2 ですね、共有してたって、
0:23:19	それをもらったのでちょっと見てみます。
0:23:28	あつたら、何これ。
0:23:31	李と浜嘉門か。
0:23:41	ちょっと待ってくださいね。
0:23:44	ドライブの中にもこれしかないけど、
0:23:47	土、
0:23:50	期間、
0:23:52	口を、
0:23:55	Source資料 1-1 と 1-2。
0:23:58	だけもらう。
0:23:59	出たかと思うんですがこれ確か、ちょっと、
0:24:06	そうだなあ。
0:24:14	宮嶋さん。
0:24:17	宮嶋さん、今メールで送ってもらいます。
0:24:21	こっちは印刷して、
0:24:23	こちらに配りますので、
0:24:26	わかりました。すみません。
0:24:33	これしかないな。
0:24:54	と規制庁トガサキですけどさ、先に、先ほどの資料の説明に対する、
0:25:01	質問を始めたいと思いますんで宮嶋さんか原さんから。
0:25:05	質問お願いします。
0:25:08	まず私から、
0:25:10	いいですか。
0:25:13	お願いします。
0:25:17	はい。規制庁宮嶋です。まずちょっとスカイシャイン線の公衆被ばくの評価についてちょっと
0:25:26	確認が 1 点だけあります。この保管方法、11 ページで示してもらってる保管方法なんですけれども、これは現状及びその直下、
0:25:38	以外に、L3 を敷き詰めましたというこれで保守的な評価ですよという話を、
0:25:44	だったかと思うんですが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:46	これ、NⅡとかはどこに保管するんでしたっけ今後の評価かなと思うんですけれども今後段階が進んでいくにつれては図とかも出てくるのかなと思うんですけれどもその場合ってどういう評価をされるつもりでしょうか。
0:26:00	中部電力荒牧です。
0:26:02	LⅡL湾につきましても、今後、解体を、
0:26:08	申請して、させていただくタイミングで、改めてほかに関しても評価を行って、
0:26:15	保管に関しても安全性が確認されていることを、
0:26:19	評価した上で申請させていただくことを考えてございます。
0:26:25	はいありがとうございます規制庁ミヤジマです。となると、今、表カーズではこのように満タン満タンに入れてるんですけれども、おそらくこのビーチだったりBだったり、タービン建屋だったり、ビーチだったりという深いところに、
0:26:40	この青い、あと1メートルの100マイクロの廃棄物、
0:26:46	と、あと1メートルで結構な線量の廃棄物っていうのを入れ替えて評価をされる。
0:26:53	ようなイメージでしょうか。
0:26:56	中部電力荒牧です。
0:26:58	保管の場所につきましても、今後検討をしていくことを考えてございますが、線量が高いので下の方の階で想定して、
0:27:08	改めて青の部分を、例えばL1、L2の廃棄物に変えて評価するとして、保管状態を、数設定した上で評価をしていくことを考えてございます。
0:27:24	はい。規制庁宮嶋です。はい、わかりましたで衛藤。
0:27:29	今満タンのこれで、
0:27:31	満タンの状態で保守的な評価ということですので、
0:27:35	今後段階踏んでいくにつれて、
0:27:40	いっぱいにならないってところも保管、
0:27:44	するよ、容量についても、余裕があるのかということも確認していきたいかなと思っております。
0:27:50	スカイシャイン線のところについては以上です。
0:27:57	はい深田さん何かありますか。
0:28:00	はい。規制庁福原ですけれども聞こえてますか。
0:28:06	問題ないです大丈夫です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:08	はい。江藤。何点かあるんですけども、まず同じところろうなんです が、
0:28:17	天井階天井というか、一番上の階にL3 を置いた時の評価というのはさ れましたか。ごめんなさい。
0:28:27	何が聞きたいかという、上の階にいるさんおいオクとですね評価って いうのが変わってくるのでしょうか。
0:28:38	中部電力荒牧でございます。すいません手元に評価結果の詳細がない んですけども、
0:28:45	実際は、いろいろな条件で評価をしてございます。
0:28:51	やはり床を1枚かマツノ2枚かますっていうところで、遮へいの効果が
0:28:58	見られるということがわかっていますので一番最上階で保管をします と、
0:29:04	その分だけスカイシャインに聞かっていうことを確認してございます。
0:29:16	はい。規制庁福原です。理解しました後同じところでもう1点なんですけ ども、裁量かいいには、L3 廃棄物を保管することを想定しないというこ とが11 ページあるんですけども、
0:29:32	上のための確認なんですけれども、今後、L3 廃棄物は最上階には置 かないというそういうルールを、
0:29:42	江藤そういうでいくつもりですか。
0:29:48	中部電力荒牧です。そのように考えてございます。最上階には保管区 域、
0:29:54	を設定しないということで申請をさせて、
0:29:59	いただいております。他、L3 は保管区域に保管することになってござ いますので、
0:30:04	保管区域上も、最上階には保管区域を設定してございません。
0:30:11	ので、L3、最上階に保管することはないと考えてございます。
0:30:23	はい。規制庁福原です。そのことは、最上階にはL3、
0:30:33	どこかルールでか書くものでしょうか。例えば保安規定に基づく二次文 書を三次文書に書くというイメージでよろしいですか。
0:30:43	規制庁クロズミツカベさんちょっと最初の方がですね音声乱れましてもう 一度ちょっとお伺いしてもいいですか。
0:30:52	すみません規制庁福原ですけども、今聞こえてますか。
0:30:57	はい問題ありません。
0:30:59	はい。先ほどのところなんですけれども、L3 については最上階に置か ないというルール。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:08	それは御社の中でのルールだと思うんですけどもそのルールはどこで、
0:31:14	どのように記載されますか。
0:31:18	中部電力荒牧です。現状も保管区域は、保安規定の中でも設定して載せてございます。
0:31:26	今回拡張した保管区域に関しましても、
0:31:30	保安規定に同様に掲載して、そこに行って管理をしていくことを考えてございます。
0:31:40	はい。規制庁福原です。了解しました後、
0:31:44	細かいところ2点事実確認をさせていただきます。添付資料の、先ほどご説明いただいた表のところなんですけれども例えば添付の6とか8とか、
0:31:59	なんです、ちょっと対単位ですね、単位のところ、表の一番上、
0:32:07	の行。
0:32:09	オレンジ色の部分のところに単位を書いてて、
0:32:14	シーベルト、シーベルト%スモールAとあるんですけども、すみません勉強不足でごめんなさい、C、Aって何でしょうかシーベルト%えー、
0:32:25	中部電力荒牧でございますすみません単位を統一してなくて、Aというのはアニュアルという意味でイヤーと同義。
0:32:33	として用いております。
0:32:35	わかりました。
0:32:37	あとですね最後に、最後にとかこの資料については最後に私の方から、6ページ。
0:32:48	資料1-2の6ページになるんですけども、
0:32:52	上の6ページの上の表がありまして、
0:32:57	ご説明いただいたんですけども、ちょっと再確認、ちょっとついていけないですね
0:33:04	6ページの上の表がありまして機械的切断と熱的切断とありますと、切断長が100センチと40センチというのが書いてあって、
0:33:19	100センチの方は、現実的な話で40センチは保守的な場合の話で、この100と40というのは、ハンドブックから持ってきた値、
0:33:32	何かその深い意味があるのではなくって典型的な代表的に100度40というのを、
0:33:39	使って評価しましたよそういう理解でよろしいですか。
0:33:43	中部電力荒牧でございます。切断長につきましては、
0:33:48	こちらで設定させていただいてまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:51	解体で実際にする、収納する容器を想定して、大きく切断するものと小さく切断する、小さく切断するとその分、
0:34:03	欠損の割合が大きくなるということで、
0:34:06	結節断腸につきましてはこちらで設定させていただいております。切断幅の熱的切断の部分、今回追加した部分につきましては、ハンドブックから、
0:34:18	値を設定して、
0:34:21	評価をしてございます。
0:34:29	規制庁フクハラですけれども、切断長については御社の方で設定して待つよと、百選じ。
0:34:39	鶴馬場フェブ園地。
0:34:42	直せ。はい。
0:34:44	当然、現実的、いろんな形で切断をする、1人。
0:34:59	渋谷にコアラマキです。
0:35:01	現実的と保守的という言葉で使い分けさせていただいてるんですけども、
0:35:08	衛藤。
0:35:09	フィルターのありなしも含めても現実的という表現を使わせていただいております。切断の幅につきましては保管容器の種類も、幾つかございますけれども、その中でも、
0:35:23	切断編が大きいもの、
0:35:27	で、
0:35:28	保守的な表現と対比する形で設定させていただいております。保守的な表現、保守的な評価につきましては、小さい切断になるものとして、
0:35:38	40センチを設定させていただいております。
0:35:44	規制庁、福原ですすみません、私の聞き方が悪かったです。
0:35:50	まず、ここについて私が確認をさせていただいてるきっかけがどうして100と40なんだろう。
0:36:01	ていうのがまずあります。
0:36:04	なぜ100度40なのか、これは、
0:36:09	特に深い意味はなくて、
0:36:11	代表的にエリアで決めてる辺り、そういう認識でいいですか。
0:36:16	中部電力荒牧です。おっしゃる通りでございます。
0:36:22	規制トップからです理解しました。とりあえず、この資料については私からは以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:33	規制庁のテラノですすいません何点かごめんなさいついていけない部分もあって何点か教えていただいご説明いただきたくて今回被ばく評価、縦の、
0:36:44	保管場所もふやして、そこに廃棄物入れます。他、
0:36:53	入れる予定はない。
0:36:57	はい、今回、大家塩田イシイでは、そうすると、第2弾、成長のテラノですけど第二段階でも一応NⅡの廃棄物は発生する。
0:37:08	節理でそのこと。
0:37:14	中部電力アラマキでございます。NⅡに関しましては除染後L3になることを想定してございますので評価としましては、除染した上でL3にして保管することで評価を行ってございます。
0:37:34	規制庁アノ形状のテラノ谷津ありがとうございますそうすると結果としても、NⅡで発生したものをL3にも除染してということでおっしゃった、おっしゃっていた。
0:37:44	補完するものは、L3、
0:37:52	L3計上の手なので、L3の廃棄物だけが保管されますよっていう記載は、
0:37:59	申請書の中には出て、
0:38:01	ますますちょっと見込みで、
0:38:15	すいません。
0:38:17	ちょっと中部電力の寺澤です。
0:38:20	計画書と、あと保安規定の方にも、今、今時点で、
0:38:26	保管区域に置くものとして放射性の不燃性雑固体廃棄物L3ということで、もう縛りがかかっているような状態です。
0:38:35	今回そこは特には、変更がないのでそのままの記載になってまして。
0:38:40	保管区域の設定予定区域を広げますよっていう、今回の申請、変更申請になってございます。
0:38:49	説明以上です。
0:38:57	ありがとうございます。またすいません改めてちょっと資料背景、確認させていただいてます。ちょっとわからんけんあったら、
0:39:04	すいません。
0:39:34	今回の市アノツジオノテラノでセト資料の1、資料規制庁の世良です。資料の1-2の
0:39:45	6ページ目、ごめんなさい。
0:39:50	5ページ目の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:54	5 ページ目のところの熱的切断の部分で、
0:39:59	今回熱的切断によって、ガス状のもの、ガス状のトリチウムだったりカーボン 14 だったり、全量個数を想定されますよってということで、
0:40:10	表の 3-3 の配筋中の移行率っていうのがここに出てきてそれとの関係効率は、
0:40:17	これはまた別。
0:40:21	線量は全量放出、存在するものは全部出てきますよっていうご説明と、排気中に効率っていうのを設定されて括弧書きで、熱的切断の、
0:40:33	2 から 2 番目の、
0:40:34	別だと。
0:40:36	5.6 × 10 ⁻¹ 以上を想定されているというところですがちょっとまだ、理解が追いついてなくてこの辺りを詳細にご説明いただけると、
0:40:45	理解が進んだ。
0:40:48	中部電力の荒巻です。排気中移行率に関しましても、
0:40:55	粒子状で、は
0:40:58	飛散するものへと排気中の移行率の中の粒子状飛散率というところに、
0:41:05	関わってくるんですけども、粒子状飛散率につきましては、粒子で、
0:41:13	発生するものに対して、こういう値、
0:41:17	期待として発生する場合はこういう値ということで、
0:41:21	ハンドブックの中で、しめさせしめ、
0:41:26	して、
0:41:26	ございます。その中で、保守的な評価を行うために、トリチウムのカーボンにつきましては、そのハンドブックのナカノ値のうちで、ガス状で発生するという方の値を、
0:41:39	指摘をさせていただいてください。
0:41:44	規制庁。
0:41:46	例えば日石切断の左側の 5.6%の欠損
0:41:51	面積率のところだと、5.610 のマイナス上だけ出てきてそれが結局フジタ通す時には何も引っかからないで出てきますよっていうそういう理解。
0:42:01	以前旅行するってことですかね。
0:42:03	中部電力荒牧でございますの通りでございます。
0:42:16	すいません。はい。以上です。
0:42:22	規制庁のトガサキですちょっと新しいからちょっと幾つか質問があるんですけど、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:28	まずですね最初の、
0:42:32	資料 1-2 の 4 ページの
0:42:36	ところですね、これは、
0:42:41	申請書ではあれですねこの鍵括弧の機械的切断では困難非効率となるべき(オ)タンク類。
0:42:50	オカ大口径配管等の大型機器。
0:42:54	加工を対象に檀日赤切断を採用するってなってるんですけど、
0:42:59	確かこの前の審査会合での、
0:43:05	概要説明では、
0:43:07	これがみんな並列になっていて機械的切断ではこんな非効率となる部位、
0:43:13	汚染の恐れ、恐れのある汚染のあるタンク類、
0:43:18	大口径配管等の大型機器、
0:43:22	という表現だったと思うんですけど。
0:43:25	これこれはまずどちらが正しいんですか。
0:43:36	中部電力の田村でございます。
0:43:38	前回の、
0:43:40	審査会合でお示しさせていただきました資料の中ではですね、
0:43:46	本日、ご用意していない資料なのでちょっと読み上げますけれども、工事方法は既に機械的切断を基本とし、
0:43:55	熱的切断は、
0:43:58	実態としてクリアランス相当程度のものに適用してきたが、今後は汚染のあるタンク類、大口径配管等の大型機器の解体も想定されると。
0:44:08	ということで、対象としましては、
0:44:12	汚染のあるという文言は少し今回の記載にはちょっと入っておりませんが、それ以外のところは、同じかなと考えてございます。
0:44:22	意図としては同義ではあります。規制庁トガサキです。
0:44:26	そうするとですねまだ今の 4 ページで言うと、ここの括弧の前に汚染のある、
0:44:33	タンク類というふうにははい。
0:44:36	入ったものが、
0:44:39	そういう数、今考えられていることというふうを考えてよろしいですか。
0:44:45	はい。中部電力の田村でございます。はい、おっしゃる通りです。今まではクリア相当まで除染したものに限るところですけども今後は、3 廃棄物ということで、汚染が残った状態でも、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:56	切るところで、汚染があるという言葉、概要資料の方には書かせていただいています。
0:45:02	規制庁のトガサキですそれでしたらちょっとまず概要の説明資料には、
0:45:08	そのタンク類の前にその汚染のあるっていうのを、
0:45:12	追加していただいた方がいいと思うんですけどいかがでしょうか。
0:45:19	中部電力田村でございます。承知いたしますこちらは、
0:45:23	補足説明資料の方に、詳しく説明させていただくと。
0:45:27	というか、ちょっとまずちょっと、これからいろいろとそれを前提に確認してきますので、はい。まず、事実関係として、申請書等、
0:45:37	が、この前の審査会合での説明概要説明で説明されたこととその事実ですね、それをちょっとまず確認したいと思いますので、
0:45:48	まずですね汚染のあるタンク類っていうのが対象になるというのはわかりました。で、続いてですね。
0:45:55	そうするとこの括弧の中っていうのは汚染のあるタンクでいいと、大口径配管と
0:46:03	江藤の大型機器っていうのは、だからその他の大型機器っていうふうに、あれですね、読むと思うんですけど、そのときに、全部その困難、非効率となるというのが書かれていると思います。
0:46:19	で、それぞれその理由を説明していただけますか。
0:46:28	はい。中部電力の田村でございます。
0:46:30	ここに、
0:46:32	列記させていただきましたものはあくまでもこの接液切断を評価する時に用いた
0:46:40	対象として選出した機器たちの例として挙げさせていただいてございます。まず機械的切断で困難というところは、様々な理由がございます。ですが、
0:46:52	まず、
0:46:53	ベースとしてありますのは、肉厚が大きく効いてきます。
0:46:58	機械的切断ですと、作業員が手で
0:47:02	レシプロキノコセーバーソーと言われる機械で切っていくところだと、ものすごく時間もかかりますし、被ばくが考えられる環境ですと、
0:47:12	被ばくっていうところも効いてきます。あとは高所で作業させるっていうところもございます。そういったところを加味しますと、
0:47:19	熱的切断を採用することで、そういった他の安全というところに提供してきますので、選択をさせていただくところでございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:29	ですが、やはり、
0:47:32	熱できるっていうところですよ、
0:47:35	火災っていうところのリスクが出てきますので、まずは原則、熱的切断と いうところは、
0:47:42	行わないという、
0:47:44	制限を設けた上で、それでもなお、
0:47:48	熱で切った方が合理的であるというところを、社内手引きの方でもすで に定めてございますけれども、その中で、
0:47:55	確認した上で切っていく。
0:47:57	いうところでございます。
0:48:01	はい。まずは、肉厚というところが、効いてきます。あとは、
0:48:06	作業環境ですね、高所、或いは作業性、そういったところで決めてござ います。
0:48:12	はい規制庁のトガサキサノここはですね。
0:48:16	ちょっとか、ちゃんと確認しないといけないところだと思ってましてとい うのは、会合でも議論したと思うんですけど、基本的にはそのクリアランス 程度のものしか、
0:48:28	そういう熱的積算というのは今までやらないっていう申請だったと思うん ですけど、それを
0:48:37	機械的切断ではこんな非効率なものについては、その範囲を広げて、 熱的切断をやるっていうことになると思います。
0:48:48	熱的切断になると、おっしゃられるように、
0:48:52	公衆の被ばく評価ですね、の方にその影響が出てくると思いますので、 だからその範囲をですね、
0:49:02	どういう所条件で広げるのかですね。
0:49:06	そこをちょっと詳細に確認したいと思ってます。それで、
0:49:10	先ほどのご説明だといずれも、その2、肉厚肉厚が厚いものという話で したけど、それどれぐらいを考えてるのかですね。
0:49:21	ただ、当時はもう肉厚が厚くても機械的切断でクリアの数でないものは やるという申請だったのが、
0:49:30	今度は考えようと変わったわけですね。
0:49:33	そのところをまず説明していただくのと、特にこの先ほどちょっと抜け てた汚染のあるタンク類を、
0:49:40	その本当除染しないで、機械的切断ではなくて、ミズタ的制度をやる ときに、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:47	先ほどのご説明だと、原則についてはやらない。
0:49:52	けど、困難な場合は機械的切断にある、にするっていうですね、考え方を、
0:49:59	どういうふうに適用させるのはですね、
0:50:01	そこら辺をちゃんとせ説明をしていただきたいというのがこの質問のもともとの趣旨です。
0:50:10	そこをちょっと踏まえたご回答というのをお願いしたいと思ってます。
0:50:20	中部電力の田村でございます。はい、承知しました。
0:50:23	設備の一つ一つですね設備の設置状況とか、そういった作業性を加味して一つ一つ現場で、これではもう機械では切れないという判断をしていくっていうところが、実態でございますけれども、
0:50:36	まずは範囲というところ、どういったものに対して、困難であるということとは、お示しできるようにさせていただきたいと思えます。
0:50:45	はい。規制庁のトガサキアノこの困難非効率となるっていう前提がなければ、もうほとんどの設備が、これ寝付けキー切断できるっていうふう
0:50:58	に、 読めてしまうと思うんですね。
0:51:01	等というのもあり、ありますし大型ものものは全部、熱的切断で切れるというふう
0:51:08	に、 ここ読めてしまうんですよ。
0:51:10	だからこの困難非効率となるっていうですね、前提条件とか、あと先ほど汚染があるっていうのを踏まえて、どうするのかっていうことを、
0:51:21	ちょっとどういうふうを考えてるのかっていうのをちょっと確認したいと思ってます。
0:51:31	それをその前提で、
0:51:34	次のちょっと質問に移るんですけど、
0:51:38	今度、
0:51:41	6 ページですね、6 ページの方で先ほどもちょっと議論があったんですけど、この切断のまず大きさですね、切断の大きさっていうのは、次、100 頭 40 というあるんですけど、
0:51:54	先ほど代替できましたって話があったんですけど、本当にこの幅の中に入るのがですね、
0:52:02	そそれをちゃんと説明してもらいたいと思い、思います。特に今まで、第二段階の実績とかも多分あると思うんですけど、そう、そういうのも踏まえて、この範囲がちゃんと入るんだっていうことですね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:15	先ほどノダ大型のものを、これから、今まで機械的で考えてるのも、熱的 2 で説明したとしても、同じようなですね、
0:52:25	大きさを、聞き切るのかどうかですね。
0:52:29	そういう説明が、
0:52:31	必要なんじゃないかと思ってます。
0:52:35	これについてはいかがですか。
0:52:41	中部電力荒牧でございます。切断長につきましては、今用いている収納容器の、
0:52:49	サイズから、
0:52:52	考えてございます。収納容器のサイズにつきましては、スカイシャインでも、想定した 1.6 角の
0:53:01	病気でしたり、クリアランス、
0:53:05	を対象としたような容器出しでしたり、解体物を収納するような 50、
0:53:11	掛ける 80。
0:53:13	ぐらいの大きさの要求を想定してます。その中におさまるものとして選定させていただいて、評価をしております。
0:53:23	はい、わかりましたじゃ、規制庁の高崎です。そうしましたらそういう情報を追加していただきたいと思います。あと、欠損幅の、先ほどハンドブックから、
0:53:37	持ってこられたっていうことなんですけど、この
0:53:40	その話が、
0:53:42	資料には、
0:53:45	ハンドブックからっていうのはここには確か書いてなかったと思いますので、その情報を追加していただきたいんですけどできればそのハンドブックの曾我該当のページですね。
0:53:57	それを、
0:53:58	その次の②の、
0:54:01	粒子止端率も同様につけていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。
0:54:09	中部電力荒牧です。承知いたしました。
0:54:12	はい。お願いします。
0:54:14	それとですね、
0:54:18	この計算ですね、計算、
0:54:23	ちょっと説明は、
0:54:27	理解はしたんですけど

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:29	まずですね、
0:54:32	先ほどの例えばアノ. ぷーのアノ5とか6で、一番左の方の核種ごとの放射エネルギーというのがあるんですけど、
0:54:44	これは実際は、
0:54:48	先ほど野田から、
0:54:51	ページで言うと、
0:54:55	6ページですね、6ページだからその各配管を、ここ粉切りにして、その時に欠損幅がどれぐらいあって、その時に、だからどれぐらい。
0:55:07	粒子受
0:55:09	の飛散があるかっていうのを計算して、
0:55:12	その時のその放射能を全部トータルして、それで合計値が出てくると思うんですけど、その過程を知りたいんですよ。だから、先ほど、
0:55:25	最初の質問に繋がるんですけど、今回、その機械だから、どの設備を機械的切断で、どの設備を、
0:55:36	熱的切断で、どうという単位で、機器の種類ごとなのかそういう配管の長さごとなのかわかんないんですけど、それで、
0:55:49	呼気って言って、それでそのときの飛散欠損とか飛散率とかを計算して全部積み上げて、
0:55:57	こういう表の各仕事の
0:56:00	放射エネルギーになりましたっていう話だと思うんですけど、そのところをちょっと見せていただきたいんですよ。特にだから先ほどのこの計算上、
0:56:10	どういうものを機械的でどういうものを熱的でやっているのかっていうのも多分計算されてると思うので、それでそれを見れば先ほど本当だから、
0:56:21	こんなんで、そういう非効率となるようなもの。
0:56:25	ていうのが、熱的で選ばれて、
0:56:28	それ以外は、だからみんな聞かれてあったというのがわかると思うんですけど。
0:56:32	あと、保守的に熱的でやってるっていうそういうようなことであればそれもわかると思いますので、その部分を終えるように、
0:56:43	230でいいと思うんですけどそういういろんなパターンのありますよねだから単に今まで度と同様に機械的切断で、
0:56:53	計算していたものと、今までは機械的切断なんだけど、今回熱的に変えましたっていうのと、あと、今回ツアーの対象になるサブチャンとか、
0:57:04	もう最初から機械化熱的とかですね、そういうのはわかるように、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:10	その部分をちょっとつなげていただきたいと思います。
0:57:14	ここについてはいかがでしょうか。
0:57:19	中部電力アラマキで承知いたしました。
0:57:23	はい。
0:57:24	それとあとこっち、ちょっと表の見方でも、ちょっともう1回確認したいんですけど。
0:57:29	添付の、
0:57:33	添付資料の、
0:57:36	これはすいません。
0:57:39	5の方ですかね。22ページの、
0:57:43	一番右引いの、畜産物摂取による内部被ばくっていうのを出すと。
0:57:49	この時点では黄色い部分を足しても、90%以上にならないんですけど、
0:57:59	合計値、合計値の
0:58:02	次の資料の7、7を見ると、
0:58:06	90%以上になってるんですけど、
0:58:09	これはだからさつき宇留野。
0:58:12	熱的と機械的で来足して合計で、90%以上になるっていうので、そう。あれ、選定してるんですか。
0:58:23	中部電力荒牧ですその通りでございます。最終的に、添付資料7で熱的切断時解析切断の評価の、
0:58:31	合計の被ばく評価結果。
0:58:34	が、記載させ、してございます。その中で、各被ばく経路ごとに、90%以上になるものを抽出して、計画書にも記載してございます。
0:58:46	添付資料5につきましてはそれ以外の核種につきましても評価はしてございますが、
0:58:53	ハッチングさせていただいている部分につきましては、今回最終的に評価の対象として文字多核種の部分について、
0:59:02	ハッチングさせていただいてございます。
0:59:04	はい。規制庁のトガサキです。これ多分、赤井宇津木会合での回答になると思いますので、その90%以上になるものを選んでるっていうご説明だったと思いますので、そこがちゃんと
0:59:17	わかるように、
0:59:18	説明をお願いしたいと思います。で、持田康考察考察ができるところがあるんであればだから結局、機械的切断の選定核種と、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:30	等熱的切断の選定学習が次、変わってると思うんですけど、
0:59:36	その考察ですね。
0:59:38	だから、熱的だとどうい核種が飛散しやすいとかですね。
0:59:42	そそういうのがあったら、
0:59:44	追加していただきたいと思うんですけどそれについてはいかがでしょうか。
0:59:53	中電力アラマキでございます。熱とせ機械の、その評価対象核種の
1:00:00	割合であったりとか、寄与率みたいなところとか評価対象核種に上がってる核種に対して、わかるようにご説明させていただこうと思います。
1:00:11	はい。
1:00:12	ありがとうございます。それとですね、続いて、
1:00:16	規制庁のトガサキですスカイシャイン線の評価の 1011 ページですね。
1:00:22	ここうをちょっと何点か確認したいんですけど、まず先ほど、天井に置かないとか、あれですよねこの緑の部分では、
1:00:37	1 マイクロシーベルトパーアワー以下のものを置くとかですね。
1:00:41	そうそういうのは保安規定に書かれるというご説明だったと思うんですけど、このまずは、平面図で、どこにどこが廃棄物の保管場所になるかとか、
1:00:54	あと制限高は、オク種類ですね、1 マイクロとか 100 マイクロとか、それは両方とも資本保安規定に追加されるっていうことでよろしいですか。
1:01:08	中部電力荒牧でございます。
1:01:11	今考えてございますのは、現行の保安規定だったり、その傘下の手引きだであったりで管理しているところに追加するような形で、
1:01:21	管理できるように考えてございます。具体的には、保管区域につきましては、保安規定で、
1:01:28	ここの区域、平面図で、平面図の中のここの分、場所が保管区域として設定しますということでご定めてございます。
1:01:38	保管の対象物の線量だったり、対象物につきましては、手引きの中で、
1:01:44	保管区域を設定する際に、
1:01:47	保管区域やそれ以外の他エリアも設定することで、廃棄物の混在を防止するであったりとかっていう観点で、管理してございますけれども、
1:01:59	その中で、どういったエリアとして設定する、そのエリアには、どういったものを保管するっていうことを、そのエリアを設定する際に、
1:02:10	手引き上で、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:12	計画書を作って定めることになってございます。そちらで、今回も保管区域の中には、あと位置で1マイクロのものをセ保管しますだったりとか100マイクロで、
1:02:24	保管しますっていうことを、を定めて運用しようかなというふうに考えてございます。
1:02:30	規制庁のトガサキですあとそこら辺のあれですな担当とかあと特にそのL3のものしかオカないっていうことは、それはどこかに申請書上明記されるんですか。補廃止措置か。
1:02:45	保安規定の申請書になると思うんですけど。
1:02:49	どちらかで明記されるんですか。
1:02:51	中部電力寺澤です。現行の保安規定の方に、その保管区域は、L3、
1:02:58	を置きますっていうふうに書いてございますので、そこは特に今回変更をかけるってことは考え
1:03:04	なくてですね、もともともう保管区域のLスパンをオク、
1:03:09	3しかを受けないって話しますかそういうような縛りがもう入っていると。
1:03:12	いうふうに考えてございます。
1:03:14	はい、わかりました。はい。ちょっとコア保安規定でどういうことを書かれるかってのはその保安系の申請がないと議論できないんですけど、
1:03:26	いつごろ申請予定されてますか。
1:03:33	中部電力の寺澤です。一応今月の来週19日を今、今のところは申請を予定してございます。はい。以上です。
1:03:44	はい、わかりました。で、ちょっと保安規定の規定の方については申請後に確認させてもらいたと思います。あとですね、先ほどいるIIのものは、置かないとか
1:03:59	L3に除アノしてから置きますって話があったんですけど、今回サプレッション・チェンバを解体進みますよね。この前の説明でも、
1:04:10	部分的にN IIとL3とクリアランスがあるって話があったと思うんですけど、
1:04:16	そのN IIのものはどういうふうな扱いになるんですか。
1:04:27	そこのL IIのものが、評価上、除染後L3になるっていう評価をしてございまして、
1:04:35	なので保管区域としてはL3のものが置かれるというふうに考えてござい。
1:04:41	規制庁のトガサキです。そうすると、もう今回のあれですか申請で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:47	サブチャンーは全部L3 以下になるというふうに理解してよろしいですか。
1:04:53	はい。その理解であってございます。中部電力寺澤です。
1:04:58	説明以上。
1:05:01	はい、わかりました。
1:05:03	等ですねその 10 ちょっと 12 ページのところ、
1:05:07	放射能duの容器、表の 4 のところなんですけど、容器 1 箱当たりの線源強度の設定根拠を教えてくださいませんか。
1:05:25	はい。中部電力荒牧です。
1:05:29	1 箱の線源共同の。
1:05:32	算出の仕方でございますけれども、他容器 1.6 各要求を想定して、
1:05:39	表面
1:05:41	から 1 メートルの距離で、
1:05:44	100mSv相当になる。コバルト宣言は、
1:05:50	どれくらいかというのをQADコードを用いて算出してございます。
1:05:55	その表面線量から中の放射エネルギーを想定しているという形で算出してございます。
1:06:04	規制庁のトガサキです。ちょっとその設定公共の説明を追加していただきたいのとあと、この 1.6×1.6 の容器、
1:06:17	を選んだ理由ですね。だからちょっとほかにもあるっていうお話でした米田
1:06:23	他のと比べてこっちの方が保守的なのかなのかどうかですね。
1:06:28	という説明もお願いしたいと思うんですけど、いかがでしょうか。
1:06:34	はい。1000 円の線源強度の設定根拠とあわせて、ご説明させていただければと思います。
1:06:44	規制庁のトガサキでそれと、
1:06:47	12 ページの下の方では、この前提で、
1:06:53	放射エネルギーを評価すると。
1:06:57	あれですね。
1:07:00	保管庫、まずちょっと確認したいのは、
1:07:05	このエリアフロアありますよねフロアの容積を考えると、
1:07:12	このアノス保管容器の数量だけを受けるとのことなんです。まず、そこをちょっと確認したいんですけど。
1:07:23	中部電力、荒牧でございます。保管容量に関しましては、保管区域を設定するところで、具体的に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:35	そのフロアの各部屋ごとにどれくらい置けるかという容量を算出して保管できることを確認してございます。こちらの箱数に関しましては、
1:07:46	評価上敷き詰める等どのくらいの箱数が受けるかというところで、そこから、全体の放射エネルギーを用いるために算出している量になります。
1:07:58	規制庁のトガサキですからこの補フロアのお湯容積に全面的にこの大きさのものを置いたとして、
1:08:09	数だけ置けるっていう関係になってるんですか。中部電力荒牧でござい ます。
1:08:16	フロアの床面積に対して、その容器 1.6 を敷き詰めた場合ということで算出してございます。はい、わかりました。規制庁のトガサキです。あとちょっと細かい話なんですけど
1:08:29	実は容器っていうのは、1、1 段積みなんですとかそれとも、
1:08:32	何、何なんかに、
1:08:36	あれですか、積むんですか。
1:08:39	中部電力荒牧でござい ます。フロアの天井の高さを加味して 2 段に置く部分とサンダンでオク分を想定してござい ます。
1:08:51	規制庁のトガサキですその 2 段 3 段に積んだ状態での、
1:08:56	被ばく評価線量評価というのをやってるんですか。
1:09:01	支部で猫アラマキでその通りでござい ます。
1:09:03	規制庁のトガサキです。ちょっとそういうことがわかるようにそこでも例示でいいんですけど、その図、図面ですね。
1:09:14	こういう 2 段 3 名を積んで、
1:09:17	ちょっと敷き詰めて、それで、
1:09:20	多分、天井の壁とかの遮へいとか考慮してるんですね、天井とか横の壁とかですね。
1:09:29	そこら辺をもし考慮してるんだったらそういうのがわかるように、概念図とかでもいいんですけど、それで、直接線とスカイシャイン線を評価して ますっていうのを、
1:09:40	示していただきたいと思うんですけど、いかがでしょうか。
1:09:44	中部電力アラマキで承知いたしました。
1:09:48	はい、規制庁のトガサキです。
1:09:50	それと、保守性なんですけど、この放射エネルギーの観点で保守的だというのはこれでわかるんですけど、実際
1:10:00	壊されるものは、配管とか、タンク類のボリュームですね。
1:10:06	ボリュームと、ここの

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:10	運用キーの数、とかの関係というのはどうなんでしょうか。
1:10:34	中部電力荒牧でございます保守的に
1:10:37	例えば、
1:10:39	保管区域を設定する保管容量ですと、フロアや、容積に対して 50%ということで、オク割合を
1:10:48	加味しております。壁とかっていうところを考慮した上で 50%を掛けた上で設定してございますこちらはそういったところは、エース計算上入れてございませんで、
1:11:01	フロアに対して箱を敷き詰めるということで箱数を出してございますので、実際の容量であったり、発生する保管、
1:11:10	の容器数に関しましては十分、この中に収まるということで考えてございます。
1:11:18	規制庁のトガサキです。すいませんもう一度 50%って何に対して、
1:11:24	50%見てるんですか。
1:11:29	中部電力荒牧です。そのフロアのフロアの容積に対して、例えば、壁だったりとか、そういったところも含めて包含した上で、
1:11:39	50%というふうな形で、評価上、置かしていただいております。規制庁のトガサキです。保管容量の、
1:11:49	保守性については、今のでわかったんですけど、その壊すものの量ですなだからちょっと、当然建物の建屋の中に入ってるから、
1:12:00	そのボリュームっていうのは、その建屋のフロアの容積率の小さいんですけど、解体することによって、母子が増えると思うんですね箱の容積とかもあるので、
1:12:12	いや、壊したものが全部は入りきるかって話なんですけど、そこら辺の比較ってのはされてますか。
1:12:21	はい。中部電力荒牧でございます。保管容器 1.6 各容器の中に、金属、
1:12:29	充填率が 10%。こちらは他の評価でも 10%前後の値を使っておりますけれども、そういった形の充填率を用いて、
1:12:39	どれ、どれくらいの解体物の重量が保管できるかということは確認してございます。
1:12:46	この保管容器の発行に対して、収納できるトン数に対して、今回発生することを想定している回答書物の重量は十分
1:12:56	内数になるということで確認してございます。
1:13:01	はい、わかりました。ちょっとそこのボリュームに対する保守性についても、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:06	ちょっと触れていただきたいと思うんですけど、いかがでしょうか。
1:13:11	中部電力荒巻承知いたしました。
1:13:16	はい。私からは、
1:13:18	この1件目自体以上です。すいません。引き続きで言ってた規制庁のテラノちょっと字表の読み方かも。
1:13:26	確認したくて、申請書の、
1:13:28	にちょっと飛んでしまうんですけど、
1:13:30	今回の申請書の表の中の2のところの、
1:13:35	固体廃棄物の発生量の見方なんですけれども、
1:13:40	今回、
1:13:42	東大、結局第二段階でNFLで物が30トン増え増えます。
1:13:49	通信制になってて、この30トンは、結局L3、
1:13:54	2、
1:13:57	藤さんと先生いるさんで、トーエルさんのものとして補完するっていう。
1:14:01	読み方をするっていう理解なのか、そうじゃなくてLⅡのものはLⅡで補完する量がここに書いてあるっていう。
1:14:11	中部電力寺田でございます。こちらにつきましては、上の例えば第二段階でいうと、炉変更前が610が、
1:14:21	変更が640というところさ、30の差分ということだと思うんですけど、こちら
1:14:26	除染前の数値になってございまして、こちらが除染後、下のL3に落ちるといような関係性になってございます。
1:14:37	はい。
1:14:39	金城テラノですありがとうございます。この数の中の例えば第二段階のところのNⅡ640の鍵の下に約130っていうのを書いてあるんですが130は、
1:14:50	注意だけ見ると、媒体の女性1人分の物量を示すって書いてあって、
1:14:55	その都度、L3フチセ130640のうちは、L3なのか、プラスになるのかちょっとあれですけど、それで130になるっていう、
1:15:17	中部電力テラダ、こちら、括弧の除染後もL2については、運転中廃棄物、
1:15:26	保管区域に置くものでは、
1:15:30	別の管理を、
1:15:36	樹脂ですとかそういったタンクにそもそも保管するというか、貯蔵するようなものが計上されてる。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:43	はい。
1:15:44	そうすると、
1:15:47	今回、被ばく評価の中で収まるようなL3 だったりそれ以下のものの補償のレベルのものになって、なくなってそれを補完するっていう理解。
1:15:57	中部電力寺澤です。そのような理解であっております。
1:16:05	規制庁の所です。今の流通の話なんですけど、
1:16:12	小令和、今回はあれですよ、第二段階で前倒しするか、サブチャン一とかも含めて、NLさんの保管場所を、
1:16:23	ここ、今回変えた変えるって話なんですけど。
1:16:27	今度3段階、今まさにあれですよ
1:16:32	容器にどうやって入れるかっていうのを検討していて、それで、それが1年ぐらいで検討期間がかかって、そのあと3段階の
1:16:42	変更されるっていうことだと思うんですけど、その時に確認すればいいと思うんですけど、そういう、3段階の時には、ちゃんと2アノL2、
1:16:52	もう、どこに置くかとかですね、そうそういう牛アノちゃんと申請が出てくる。
1:16:59	んですかっていうことでお答えられない範囲で結構なんですけど。
1:17:06	中部電力の田村でございますはい。はい、おっしゃる通りです。今回ご説明させていただいた、L3の置き場の中にも、第3段階の申請ではですね、N2っていうのは、この辺りに位置していて、
1:17:17	適切な被ばく。
1:17:19	そっちも取る。
1:17:21	ものでありますけれども、評価の中でもきちんとですね、このお示しできるようにする予定で進めております。
1:17:32	こっち会議室からは以上なんですけど福原さんとか宮嶋さんとか何か追加でありますか。
1:17:44	コミヤイトウフクハラですけれどもよろしいでしょうか。お願いします。
1:17:53	衛藤先ほどですね
1:17:56	トガサキの方から聞いた最後のところ最後というか
1:18:03	解体したものはすべて保管できますかというような質問をさせていただいたと思うんですけども、
1:18:11	それに対して重量で評価してますよっていう回答だったと思います。
1:18:16	で、体積、要はその箱に入る分には、体積も考慮しなきゃいけないと思うんですけども、
1:18:26	その辺の評価はされてますかという確認を、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:31	したいんです。なぜしたいかというと、
1:18:36	相機知能審査、審査基準にですね、解体物の解体する物の種類とか数量が適切に評価されてますかというようなことが、
1:18:49	書かれてあるので、結果については、例えばこのレベルのものが何トンぐらい出ますよという結果の表はたくさんあるんですけども、
1:19:01	どういうふうに評価したのかっていうのが、
1:19:04	なかなか見えてこないんで、そのあたり、
1:19:09	結果だけではなくって、どういうふうな評価をして、
1:19:14	このレベルのものがこれだけの量でます、だから大丈夫なんですっていうようなところがわかるように、
1:19:21	今後示していただければ、
1:19:24	そういうふうな資料の変更をご検討いただければと思いますけれどもいかがでしょうか。
1:19:33	渋谷中部電力荒牧でございます。
1:19:38	出した、土佐通した設定の。
1:19:40	算出根拠。
1:19:42	そのようなところがわかるような形で資料を作らせていただければと思います。
1:19:52	規制庁、深田です 5 件テーマと思います。
1:19:58	阿藤。
1:19:59	ちょっと基本的なところになるんですけども、
1:20:03	話を聞いていてですねF、
1:20:06	L2 については除染をしてL3 にしますよっていう話が出たと思うんですけども、
1:20:13	除染はどのように行いますか。
1:20:28	中部電力の田村でございます。この除染の方法については、基本プラスと除染、
1:20:34	温泉を下げることで想定してございます。
1:20:44	規制庁福原ですけどもすいませんちょっと聞き取れなかったんですが、プラストブラスト除染が水を吹きかけるということでしょうか。
1:20:56	中部電力の田村でございます。ブラスト除染という手法を用いる予定でございまして、プラス条線という金細かい金属のですね粒子を、
1:21:07	表面に機器の表面にぶつけることですね、削り落とすと、そういった手法でございます。
1:21:18	規制庁福原ですということは

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:22	その削り落とされたものは、また適切に処理されると、そういうことでしょうか。
1:21:31	中部電力田村でございます。はい、おっしゃる通りでございます。
1:21:35	使ったですね金属の粒子というところは、汚染された廃棄物という位置付けで管理して参ります。
1:21:48	はい
1:21:49	規制庁福原ですけども、除染を除染をされた方というか、N2 がL3 になった方はいいんですけども、その代わりと言ったらあれですけども
1:22:02	終了とした金属粒子の方がどうなるかっていうのがちょっと気になったので、
1:22:07	具体的には、
1:22:10	固体廃棄物になるんですかそのちっちゃな金属粒子だと思うんですけども、まだちょっとイメージが湧かなくて、
1:22:20	中部電力の田村でございます。はい。おっしゃる通りです。固体廃棄物ということで位置付けて、管理することとしています。
1:22:30	他にもですね機器を切断する時に用いてますハーとか、そういったものもやっぱり工事に伴って発生する付随廃棄物として、
1:22:41	管理しておりますのでそういった、
1:22:44	プラストの融資とかも同様に管理していく予定です。
1:22:51	はい、系統規制庁フクハラですということはセメントない明日Ⅳと一緒に公開されてドラム詰めされる、そういう理解です。よろしいですか。
1:23:12	最終的にはですね他の解体廃棄物と同じ扱いで、
1:23:18	廃棄物として扱いますので、最終的な処理処分というところは、まだ、
1:23:24	申し上げることはできないんですけども、
1:23:27	解体廃棄物と同様、
1:23:30	ボックスに入れてですね。建屋の中で今保管しているという、そういったものですね。
1:23:35	今後も同じような感じで続けていく予定でございます。
1:23:44	規制庁福原ですけどもすいません、ちょっとくどくと。
1:23:49	ということは先ほど来出てきてる、1.6メートルの収納容器に入る。
1:23:58	とりあえずは入るってということですか。
1:24:09	中部電力林でございます。
1:24:12	除染の仕方によるんですけど、例えば女性もウェス等で吹いて落とすとか、
1:24:19	あと今プラストといったような金属のツールを見つける。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:23	削り方とかですねいろいろあるんですけども一番わかりやすいというイメージできるのは多分Sで吹く場合は、こういったものはもう普通の運転中でも出てくる。
1:24:33	いわゆる廃棄物になりますけどもこういったものは必ずしもドラム缶にそのまま入れるとかそういったことではなくて例えば、
1:24:43	可燃性燃やしてですねその灰をドラム缶入れたりといった処理も考えられます。そういった形でちょっと解体に伴って大きな金属の
1:24:54	物体の状態が出てくるというのをちょっと今想定はしていないものですからちょっとそこは通常先ほど田村が言ったような普通の改訂物赤い普通の廃棄物の扱いと同様に実施をしていくということになろうかと思えます。
1:25:14	はい、大木先生、ちょっとその辺りが見えなかったというか、要は、単純に考えて、NⅡ図を除染しているんですがあった方がいいんですけども、
1:25:29	じゃあ、スズキの結果な金属粒子であったりとかウエスはどうなるのかなって。だから、それは、Lレベルでしょって話になるので、
1:25:39	何だろう。衛藤。
1:25:47	聞こえてますか何か音声変ですけど、大丈夫でしょうか。
1:25:52	あってるので、聞こえてます大丈夫です。
1:25:58	すみません衛藤。
1:25:59	要は、何だろう、資料に追記するかどうかっていうのをちょっとご検討いただければと思います必ず追求してくださいって話ではないので、
1:26:12	規制庁のトガサキですちょっと今の点でちょっと確認なんですけど、
1:26:17	今まで、今回サブチャンーを解体対象とするんで、サブチャンーの中にはさ、
1:26:27	部分的にL2、
1:26:29	の部分もあるということなんですけど、先ほどのご説明だとそのA類の部分は、L3に、除染してからってということなんですけど、
1:26:40	今までのこの2段階で、
1:26:43	D/Wヘッドとかも、確かあの対象になってたと思うんですけど、
1:26:49	L2の部分を、L3にして、除染したっていう、
1:26:54	事例ってのは今まであるんですか。
1:27:09	中部電力田村でございます。少々ちょっと確認させていただきたい。
1:27:14	ですけども、ドライブHeadにつきましてはL3除染前でL3という評価。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:19	でしたので、そのまま機械的切断をして、
1:27:23	ございます。
1:27:26	規制庁のトガサキで、もし今回、サブチャンーでL2の部分をL3にする、助成するっていうのがもし初めてであれば、
1:27:37	そこはですねちゃんと確認する必要が、どうやって除染して、その廃棄物ですね、っていうのはどういうふうに扱われるのかっていうのを、
1:27:48	確認が必要だと思いますので、
1:27:51	だからこの資料に盛り込むか会合でちょっと質問するかっていうのあるところあると思うんですけど、
1:27:59	確か会合であれですよ。サブチャンーのL2L3 クリアランスについて質問してますよね。そんな時に、
1:28:09	お答えいただいたんでそこは宿題になってないかもしれないんですけどそこら辺の補足説明として、ここの資料に補足入れてもらうっていうのは一つあるんじゃないかと思います。
1:28:21	そこはちょっと検討いただければと思います。
1:28:24	規制庁のテラノです。今、おそらくもう第一段階で610tだけ発生しますって、
1:28:33	取れて、今回その30だけHzがふやします。
1:28:37	で、おそらく、
1:28:40	じゃないかな。
1:28:42	すいません。
1:28:47	中部電力田村でございます。はい、承知しました。
1:28:49	補足説明資料の中で、そういったところがちょっと見えるように、
1:28:53	書き込めるちょっと検討させていただきます。
1:28:57	あとすいません水撃規制庁トガサキニイツアノついでにですね、それ一部さっきの汚染の、あるタンク類っていうところなんですけど今申請書には、
1:29:09	タンク類しか書いてなくて、概要説明では汚染のあるっていう書いたんですけど、これ実際に、
1:29:18	汚染がある状態で、解体するんですかそれともちゃんと除染してから会社解体するんですか。
1:29:25	だからL3以下の汚染なんで、もう汚染、そのままカー解体するっていうんであれば、やっぱちゃんと汚染があるっていうのをちゃんと申請書に書いてもらう必要があると思うんですけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:37	そこはだからもう汚染があるタンクなんですけど、ちゃんと除染してから、解体するのか、そのまま遊佐以下の汚染ということで、そのまま解体するのか。
1:29:49	その場合だからドアノ解体したものを飛散防止とかちゃんとやらないといけないですよ。
1:29:55	あそこにどうなのかっていうのをちょっともう少し、
1:29:58	わかりやすくしてもらいたいと思いますけどいかがでしょうか。
1:30:07	中部電力田村でございます。はい、承知しました。
1:30:10	L3 と申しまして、やはり幅を持ってまして、実際には
1:30:15	やはり作業環境を考慮すると、除染してから作業した方がいいだろうというものももちろんございます。拭き取り除染とかですね、実施してから作業するものでございますし、
1:30:25	L3 の中でもこの程度であればそのまま切断に入っていこうというものも実際ございます。
1:30:32	その辺のところ、少し文字にしてですね、見えるような形で記載させていただきたいと思います。
1:30:44	アノとは、規制庁トガサキですけどフクハラさんほかはありますか。
1:30:53	規制庁福原ですけども私からはありません。
1:30:58	はい。宮嶋さん、何かありますか。
1:31:02	規制庁宮嶋です。はい。ちょっと1点だけいいですか先ほどから
1:31:08	ちょっと関連する話でまず。先ほど
1:31:14	建屋にどのように保管するかってところでLⅡなのかっていうところを質問させていただいて、流れとしては、そのNⅡは除染をしてエヌスL3になりますよという説明でした。で、この
1:31:28	除染がどれだけきくかっていうのは、おそらく第一段階とかでやってる汚染状況調査、
1:31:34	でしたり、その除染の効果とかっていうところは評価されてるのかなと思うんですけども、それって資料のどこかについていたりしますか。
1:31:52	中部電力荒牧でございます。
1:31:55	具体的な詳細については、
1:32:00	資料の中にはございませんで、計画書上の物量のところで、先ほどのような形で、
1:32:09	記載させていただいてございまして、
1:32:13	表の中の2の、
1:32:15	上側、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:17	各セルの上側が、助成前、
1:32:21	の、
1:32:22	物量、そして下側が、DF100ということ想定して、そこまで落ちたときの評価。
1:32:31	そして、記載してございます。
1:32:37	はい、規制庁宮嶋ですありがとうございます。先ほどの説明とショットピーニングで、表面削ってやりますよという話かなと思うんですけどもこれDF100で、
1:32:50	こんだけ減ります。
1:32:55	割と早目の段階で出てくるLⅡ廃棄物は概ね、
1:33:00	L3なり、結構量定L3なりますよって話はそこでもうDF役だからこうなりますっていう。
1:33:07	説明になってるってことですよ。
1:33:14	中部電力荒牧でございます。評価上そういった形の記載になってございます。
1:33:23	はい。規制庁宮嶋ですありがとうございます。っていうことは今後、段階踏んでいくにあたってえず、
1:33:32	ワー、それなりの量出てくるんですけどもそれも大体ピーニングショットピーニングでしたり化学除染とかって、
1:33:40	計画されていて、その化学除染、ショットピーニングどんな効くかによって最終的に出てくる廃棄物の絵と、
1:33:50	ランクごとの量というのは変わっていくのかなと思うんですけどもそれも、今の段階って何か何か評価されてますでしょうか。
1:34:02	中部電力荒牧でございます。特区実際に解体を進める。
1:34:08	際に、どういった状況であるかっていうところを見てどういった工法適用するかっていうことを見極めていくことに、
1:34:18	なると考えてございますので実際に
1:34:22	物量として、
1:34:23	どれくらい実際の解体工事で、どのレベルがどのようになるかっていうところは、
1:34:32	実際集計とか、いう形ではしてございませんで、評価上、あくまでDF1と理由100ということで、評価したものを、
1:34:41	計画書に記載させていただいてございます。
1:34:46	以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:48	規制庁宮嶋です。はい、理解しました。汚染状況調査を以前やられていて、その汚染状況で
1:34:59	概ねウランレベルごとにどれだけの廃棄物があるかってところは、概ねの目安がついてるのかなと思うんですけどそれを、
1:35:08	大本として、
1:35:10	今後、
1:35:11	計画を立案されるのかなと考えてますので、そういうところの関連性でしたり、
1:35:17	除染の方法の検討でしたりってところは段階進むにつれて、
1:35:23	説明していただければと思っております。
1:35:26	私からの質問は以上です。
1:35:34	すいません。では引き続きましてちょっとページがありまして資料の2の方の説明をお願いできればと思います。よろしく願いいたします。
1:35:45	はい。
1:35:46	中部電力寺澤が説明させていただきます。資料2の2ページ目をご覧ください。
1:35:52	こちら、ヒアリングにおける質問事項回答といたしまして、まず指摘事項ですが、熱的切断に対する火災防護対策について、進めすることというふうに、
1:36:04	認識しております。
1:36:06	回答といたしましては、2ページ目に書いてございます通り、
1:36:11	保安規定傘下の防火管理手引き、廃止措置というものが定められておりましてこの中で、
1:36:18	発電所敷地内等における防火管理及び対策を確実にするためにその細目というのが、こちらの手引きで定められてございます。
1:36:27	この手引きの中で、熱的切断は道路等の用的なある作業、例としてガス溶断ですかプラズマ切断というものに区分されてございまして、
1:36:37	これは最も火災のリスクがある火気作業に分類をされてございます。
1:36:42	この当該の手引きにて、各作業区分と火気作業区分に応じた防火措置というのを要求してございまして、こちら廃止措置で今後熱的切断を拡張するにあたってはこちらの防火管理手引きに基づいて、防火措置をしていくこととなります。
	(以下火災防護関係は非公開資料につき削除)
1:39:18	何か規制庁から質問等、確認したい事項ございますでしょうか。
1:39:31	規制上のフクハラからはありません。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:36	宮島からも、この火災防護対策についての説明はされているのかなと思うので、
1:39:43	質問ありません。
1:39:47	規制庁のテラノですけど。
1:39:49	ちょっとすみません資料読み込みでなくて恐縮なんですけど、今、この廃止措置の計画は、この火災対策に対しての記載はどのぐらいの深さまで、今、
1:40:03	記載がありますでしょうか。
1:40:11	中部電力の寺沢です。
1:40:15	今の時点でも、
1:40:19	熱的切断については、クリアランス相当のものには、
1:40:24	適用、場合によっては適用でき、機械的切断が困難な場合は適用しますということで書いてございますので、今の時点でも、この防火、
1:40:34	管理手引きに従って防火措置をするということは、
1:40:38	特に変わりがない。
1:40:40	という、
1:40:41	形になってございます。今回、
1:40:43	その対象を拡張するにあたって、
1:40:46	この基本的なこの防火管理手引きにしたがってやっていくということも、に変わりはないと。
1:40:52	考えてます。
1:40:54	計画書で言いますと、各解体撤去の工事方法の中で、
1:41:01	安全加工対策っていうもの、
1:41:04	それぞれ書いてございましてそういったところで、必要に応じて火災防止対策等をしてきますよといったようなことを、
1:41:13	例えば記載をしてございます。具体的なこういった効果管理的で、措置をしていくと。
1:41:20	いうことでございます。
1:41:22	説明以上になります。
1:41:24	規制庁のトガサキ今野店で、
1:41:28	今のその申請症状は、5号の、
1:42:04	指針斉唱ですね。
1:42:27	東さんが必要に応じて防災シートの使用等による防火対策。
1:42:33	火災防止対策、
1:42:37	ここで読むんですかね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:41	そうしましたら、ちょっと資料2の説明だけだと、
1:42:48	これを具体的にどういう対策とってるかわからないんで、まず、まず申請書にどういうことを書いてあるかっていうことを、ここに書いていただいて、
1:42:59	具体的には保安規定傘下の防火管理手引き、
1:43:06	細目を定めてますんで、そのあと2個のですね、
1:43:11	この文章だけだとちょっとどういう対策なのかっていうのが、
1:43:15	わからないんでしょで特にあのシート、再防火Cシートでしたっけ。
1:43:21	造園シートとかで何かやられるっていう。
1:43:25	等々がついてますカネボウ円シートの使用等によるっていうところの具体的な説明。
1:43:32	ちょっと説明できる範囲で、
1:43:36	ここの図のですね、
1:43:41	そっちはちゃんと受けがあるとかですね。
1:43:44	今後おかしいとか、ちゃんと周囲に配置されるとかですね。
1:43:48	そういうキーワードを、
1:44:07	具体的にこの文章だけではわからないので、
1:44:10	そこの説明がわかるようにしていただきたいと思うんですけど、いかがでしょうか。
1:44:19	中部電力寺澤です。承知いたしました。
1:44:29	あと規制庁のトガサキです
1:44:33	事項のその評価との関係なんですけど事故では、
1:44:38	爆発とかを、今回新たに追加してるんですけど、
1:44:46	このさ、あれですね作業等、この事故の関係ってのはどうどういうふうに、
1:44:53	関係してくるんですか。
1:44:59	規制庁のトガサキですだから、ガス、ガス用何とかだとあれですかがガスがでて、それが爆発するっていう、プラズマでもそういうのってあるんですか。
1:45:10	爆発っていうのは、
1:45:19	中部電力田村でございます。今回、
1:45:22	欠席切断を用いる手法は、おっしゃる通りやっぱプラズマだったりガスというところあるんですけども、今回、
1:45:28	事故評価のところで、爆発っていうと考慮しているのは、カネダの用いるガスですね、アセチレンだったり酸素だったりそういったところを

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:36	使うってところが、大きく機械と熱できる。
1:45:40	そこで変わりますので、今回
1:45:43	想定する事故事象の中に含めました。
1:45:47	規制庁のトガサキです
1:45:50	熱的切断は、そういう、
1:46:45	わかりましたこのガス溶断とかプラズマ切断とか、
1:46:50	レーザーとかも考えてるんですか。
1:46:53	ここに書いてあるのはみんなあかん考えてるんですか。
1:47:00	ちょっとすいません。
1:47:02	エリアというところと切断する。
1:47:05	作業。
1:47:07	請負業者さんの方で
1:47:09	得意なところってところがあるので、どれを選択するかっていうところは、すいません、ケースバイケースなんですけれども。
1:47:15	一般的に溶断というところで考えられるものたちがここには記載させていただいてるっていう
1:47:22	わかりました多分この
1:47:25	結局、規制庁のトガサキですけどこういう溶断をするとなんか立たれてくるから、そこをちゃんとそこで受けられるようにするのと、あと何か
1:47:36	燃えたときに、その火災が広がらないように、耐火シートで覆うという、
1:47:41	のが書かれてると思うんですけど、火災防止対策としてはそれぞれ。
1:47:46	でいいと思うんですけど爆発との関係。
1:47:49	爆発との関係っていうのは、
1:47:52	特に何か対策ってのはないんですか。菌田ガスが凍ってるアノ漏れたときの、
1:47:58	多分こういう対策の、
1:48:01	基準みたいのはないんですか。
1:48:15	中部電力の田村でございます。もちろんですね、国債に対する洋上っていうところは、
1:48:21	このよう上手
1:48:23	の方でお示しさせていただいておりますけれども、ガスを使うというところは
1:48:29	火気作業のエリアが密閉ならないようにですね、
1:48:32	廃棄局はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:34	装置を設けるとかですねそういったところは、もちろん実施しております。
1:48:41	規制庁のところで何かそういうガス爆発防止対策の基準というのはいないんですかね。
1:48:54	要はここが規制庁の河崎磯野葛西の発生防止、発生防止の観点での説明になるんですけど、結局自己評価では、
1:49:05	笠田イイダだけではなくて爆発も評価してるんで、
1:49:11	それこの前もちょっと意見審査会合で議論なったと思うんですけど、確かこの前の説明ではそのフィルターこういう
1:49:21	切断をして、その切断をし、した部分の放射能が、MACCSフィルターニイツアノ溜まってる状態のときに、
1:49:35	爆発があったらどうするのかっていう評価なので、何ですか飛散率とかは、通常時のものと、事故時も同じですっていうのは回答だったとも思うんですけど。
1:49:48	そうするとだから、もう、
1:49:52	そういうフィルターに詰まった状態で爆発するっていうことですよ。
1:49:58	だからちょっと爆破通のところとの関係ですねその下、火災防止と、爆発との関係がちょっと結びついてなかったんで、
1:50:10	要はその何か、
1:50:12	とかしてるときに、その火事があったら、そうしたらそれで飛散するじゃないですか。そういう飛散率は使わなくてもいいんですかっていう。
1:50:21	観点での質問だったんですけど、その措置ではなくてもう
1:50:26	何、MACCSフィルターに詰まった状態で爆発するんで、そちらの評価をしてますっていうことでこの前は、
1:50:34	特にそれ以上の所、公明党しなかったんですけど、
1:50:39	ちょっと、ただしっかり火災の恐れがある作業とガス爆発の関係がちょっとしっくりこなくてですね。
1:50:48	あそこは今の話だと、ガスイオンの時にガス会社が充満して、それで爆発するっていうことだと思ってるんで、そうするとじゃあ今度ガス爆発防止対策、
1:51:01	それについては、ちゃんと、
1:51:03	考えられてるのかっていうのがちょっと疑問になりますので、
1:51:09	そそこもう何か基準とかがあるんであればちょっと説明をしていただきたいと思うんですけど、いかがでしょうか。
1:51:23	はい。中部電力田村でございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:27	はい。
1:51:29	爆発、かき作業に伴う安全加工。
1:51:33	対策ですか。ここのところは、廃止措置計画からですね、
1:51:39	もう具体的にこういうところまで社内手引きで、
1:51:42	し、実施しているっていうところを見えるようにさせていただきます。
1:51:45	例えば、ちょっと手引きの方を少し見てたんですけども
1:51:50	例えば、はい。爆発対策として、
1:51:52	ガス検知を行わなければならないとか、
1:51:56	そういった措置
1:51:57	でございますので、そういうところも決めるように、
1:52:03	以上です。私からは以上です。
1:52:12	規制庁クロズミです。ウェブで参加されてる福原さん何かコメント等ございますでしょうか。
1:52:21	福原ですけれども、今日いただいた、
1:52:27	資料以外のところで、
1:52:30	確認したい簡単なところで2点確認をさせてください。よろしいでしょうか。
1:52:38	まず1点目ちょっと資料は多分皆さんお手元にはないので、口頭で簡単なところ2点です。今回の申請で、性能維持施設から除外しているものがあって、
1:52:51	具体的に言うと、
1:52:54	機器搬入コウノ遮へいプラグというのを、
1:52:58	性能維持施設から除外をしております。で、私でちょっと聞いたかもしれないんですけども、この遮へいプラグというのはどういったものですか。
1:53:15	中部電力の田村でございます。
1:53:18	格納容器キーの脇に、
1:53:22	今つけております。
1:53:24	兵庫と本文の方で記載しております
1:53:29	アノ社格納容器の遮へい機器と同義でございます。
1:53:35	そうですね。
1:53:36	格納容器の、
1:53:42	格納用キーのですね規制は、
1:53:50	どうぞ、お願いします中部電力の田村でございます。
1:53:55	格納用キーアノフロアプラス5か形でございますけれども、その側面に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:01	ついております。
1:54:03	目的はやはり機器をですね、
1:54:06	格納容器の中の機器の点検、或いは建設時に、大きな、
1:54:12	例えば再循環ポンプとか、
1:54:14	大きなバルブがあるんですけどもそういったものを搬出するときを使う移動式でですね、蓋のようになってる。
1:54:24	PLUGのPLUGとここでは呼んでますけれども、そのコンクリートの、
1:54:28	可動式の
1:54:30	Hatch或いはPLUGは減って、
1:54:34	ございます。で、これが、
1:54:37	廃止措置に入った段階以降ですね、格納容器の中の解体も一部行っておりますけれども、
1:54:44	もうずっとですねPLUGはもう開放状態でずっと維持してございます。
1:54:49	ですので、
1:54:50	被ばく評価という観点でも、
1:54:54	もう解体しても影響がございませんので、ここについては、
1:54:59	開催をいたしますと、
1:55:00	性能維持施設として、
1:55:03	格納容器。
1:55:06	野間一部として入ってますのでですね、ここも改定に伴って線路移設から除外させていただくと、そういったものでございます。
1:55:17	規制庁福原です。わかりました遮へいプラグ以降ですね駅、可動式の車へ行き
1:55:28	確かプレス向けのA3の紙に写真だったかと思うんですけども、おっきな移動式の壁で壁ですよ。あれでも、
1:55:38	あれを遮へいプラグと呼んでるそういう理解でよろしいでしょうか。
1:55:44	中部電力の田村でございます。はい。その通りでございます。
1:55:52	規制庁フクハラですわかりました後、五味さん簡単なところで、一般論というか、えっとですね、
1:56:01	放射能レベル、
1:56:04	あと放射性廃棄物の、ごめんなさい、放射性廃棄物の発生量の見積もり方なんですけども、いろんな表があって何トンぐらいヘルツが何トン、L3が何トンとかっていう表があるかと思うんですけども、
1:56:19	その発生量はどのように見積もっていますか。
1:56:30	中部電力荒牧でございます。発生量は、汚染状況調査の結果、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:37	と、あとは、廃止措置の対象機器を洗い出して、そのキッキに対して、
1:56:46	どれくらいの汚染レベル。
1:56:48	があるかっていうのは調査して、その調査結果から、展開させて、
1:56:55	それぞれの機器に対してこれくらいの汚染状況だろうというところを、
1:57:00	割り当てて、それを集計したものとして、表の
1:57:05	中であつたりとか、さて、
1:57:08	この5章のところ、結果としてまとめて記載してございます。
1:57:15	以上です。
1:57:19	規制とフクハラですけれどもその放射能レベルの話は、汚染状況調査 をしてますよということで、
1:57:28	イメージがついて理解はできませんけれども、その
1:57:33	何トンですよとか例えばLL通が何百トンですよNさんが何千トンですよ ってというのは、それは何か、例えば、建設時の資料であつたりとかメーカ 一作成も、
1:57:46	仕様書なりで重量なり、
1:57:49	そこに書いてある重量から見積もってるそういう理解でよろしいでしょ うか。
1:57:57	中部電力荒牧でございます。
1:58:01	当時汚染状況調査をして、評価をする際に、図面でしたり、そういったと ころから、トン数をこう計算して、各機器ごとの配管ごとに、
1:58:12	これだけのトン数で、
1:58:14	それに対して、汚染状況調査の結果で、こういった汚染状況のだろう ってところを、それぞれ集計しているっていう形になってございます。
1:58:30	規制庁福原です。わかりました分そうだろうなと思ってたんですけども、 もしよろしければですね先ほどその図面から見積もってますよって いうことだったので、
1:58:42	そのことがわかるように、どっかに追記いただくことをご検討いただ ければと思います。というのはちょっと審査基準にどれくらいの量があ ってどれくらいの線レベルかっていうのが適切に評価されて、
1:58:56	るよねっていうことを確認するっていうことになってるので、
1:59:00	はい。ご検討いただければと思います。
1:59:05	中部電力荒牧です検討させていただきます。
1:59:12	規制庁フクハラからは以上です。
1:59:16	ありがとうございます。
1:59:17	直接クロズミです。宮嶋様から何かございますでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:59:21	はい。
1:59:24	私からは今言いたいことと確認したいことは伝えられたかなと思います んで大丈夫です。
1:59:32	ありがとうございます。最後に中部電力さんから何かコメント等ございま すでしょうか。
1:59:43	中部電力田村でございます。
1:59:45	弊社からございません。
1:59:49	はい、ありがとうございます。ではこれをもちまして本日ヒアリング終了さ せていただきます。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。